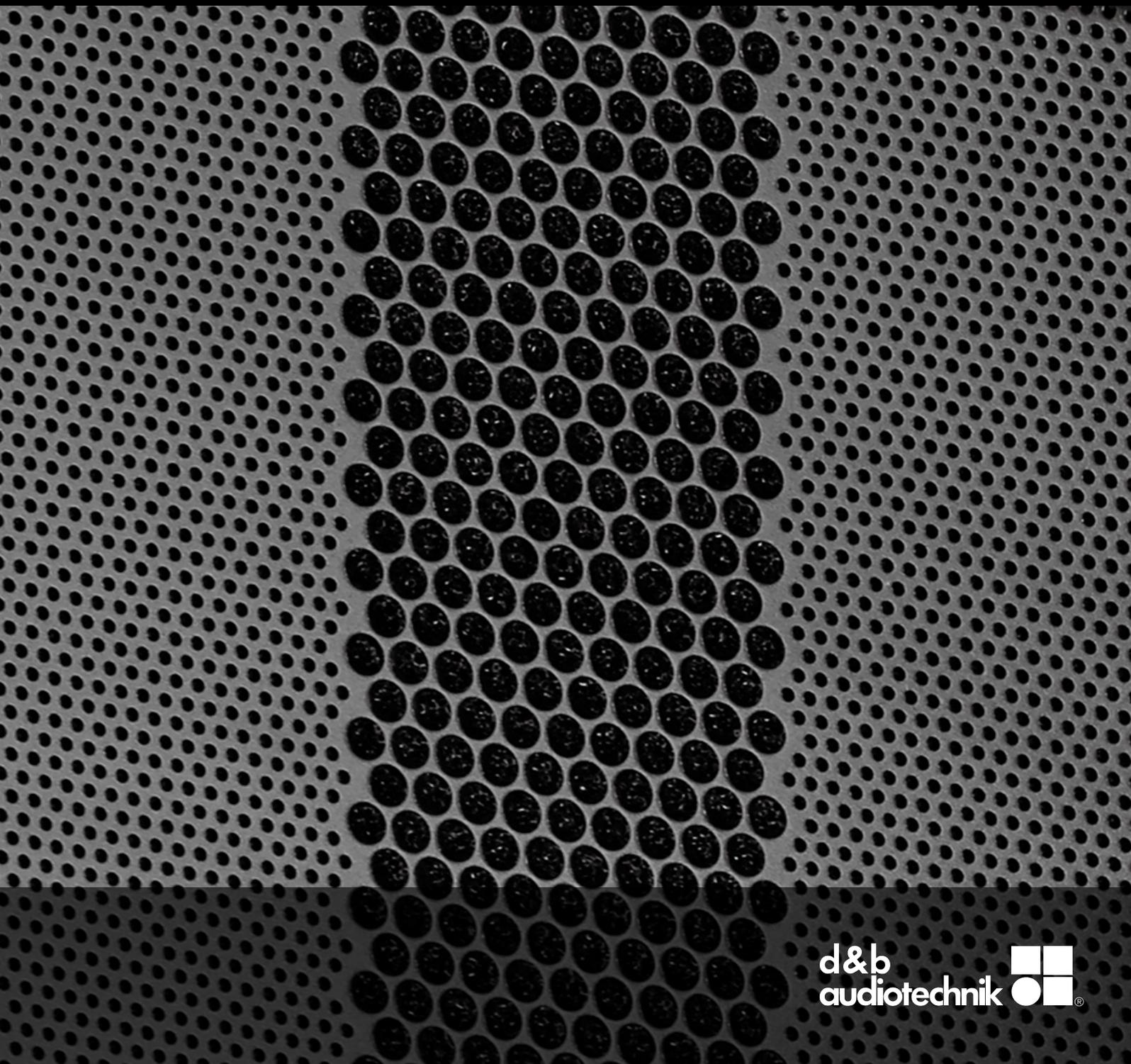
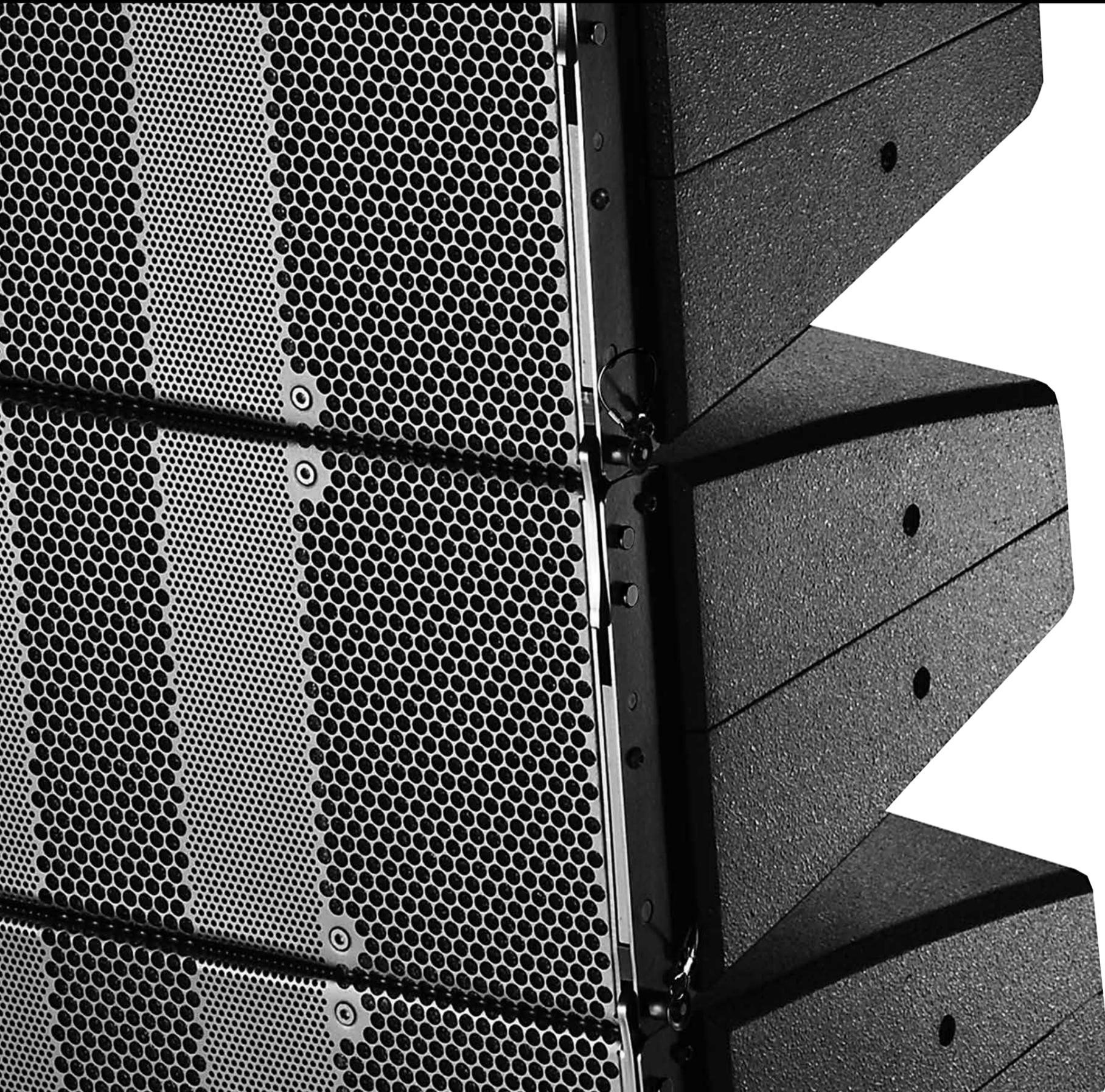


T

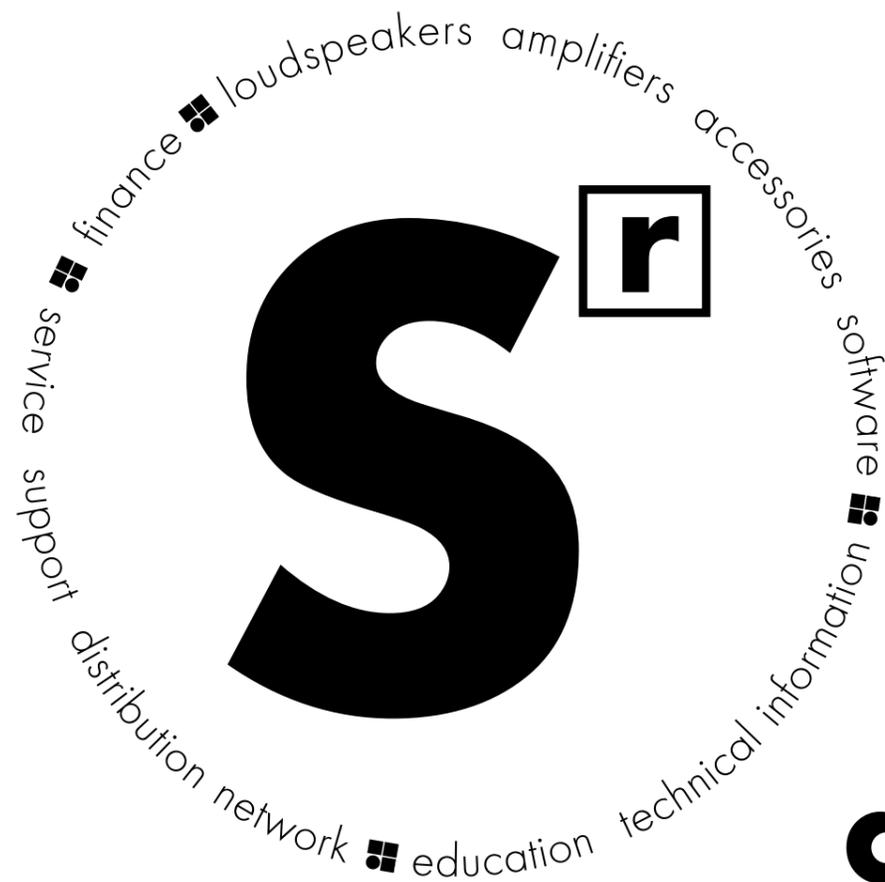
T-Series



目次



d&b システムリアリティ	4
T-Series	6
T10 ラウドスピーカー	10
T10 エレクトロアコースティックコンセプト	11
Ti10L ラウドスピーカー	12
Ti10P ラウドスピーカー	13
TとTi サブウーファー	14
B4 サブウーファー	15
T-Series リギングとマウンティングアクセサリ	16
T-Series リギングとマウンティング例	17
Ti 耐天候仕様と特別色塗装オプション	18
T-Series ケース	19
d&b ArrayCalcシミュレーションソフトウェア	20
d&b NoizCalcイミッションモデルソフトウェア	22
d&b R1リモートコントロールソフトウェア	23
d&b アンプ	24
d&b アンプの操作	26
T-Series 周波数特性	27
d&b アンプの出力モード	28
DS10オーディオネットワークブリッジ	29
T-Series 構成例	30
T-Series ケーブルとアダプター	34
T-Series 製品概要	38



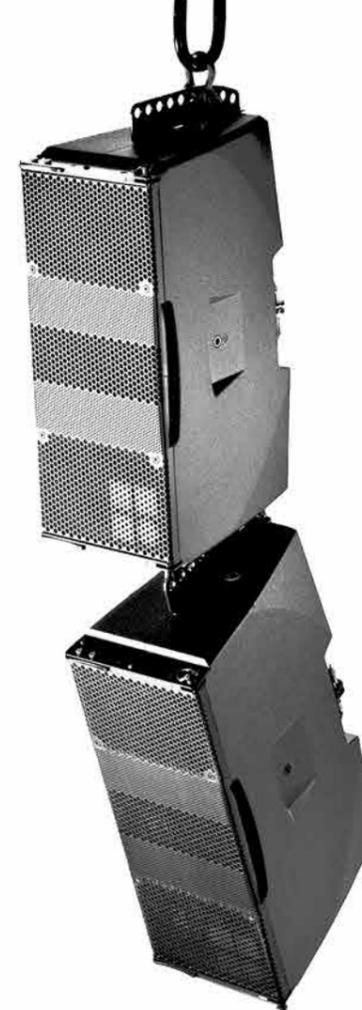
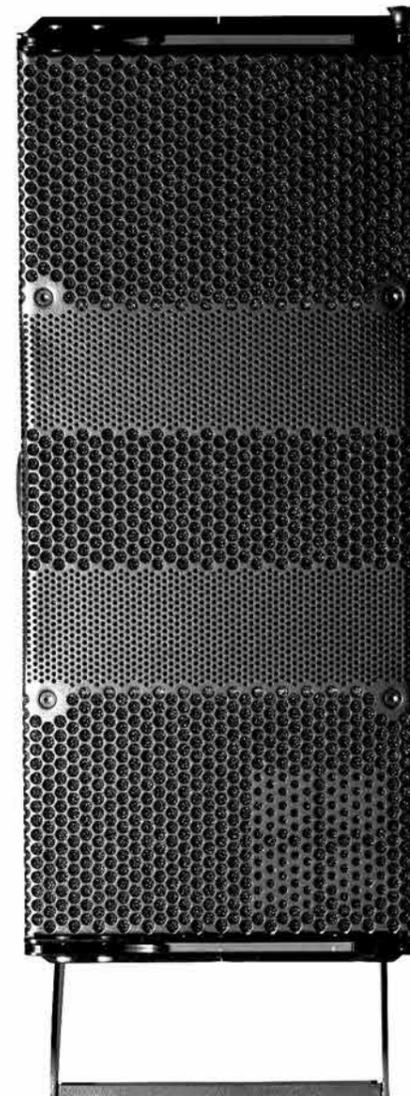
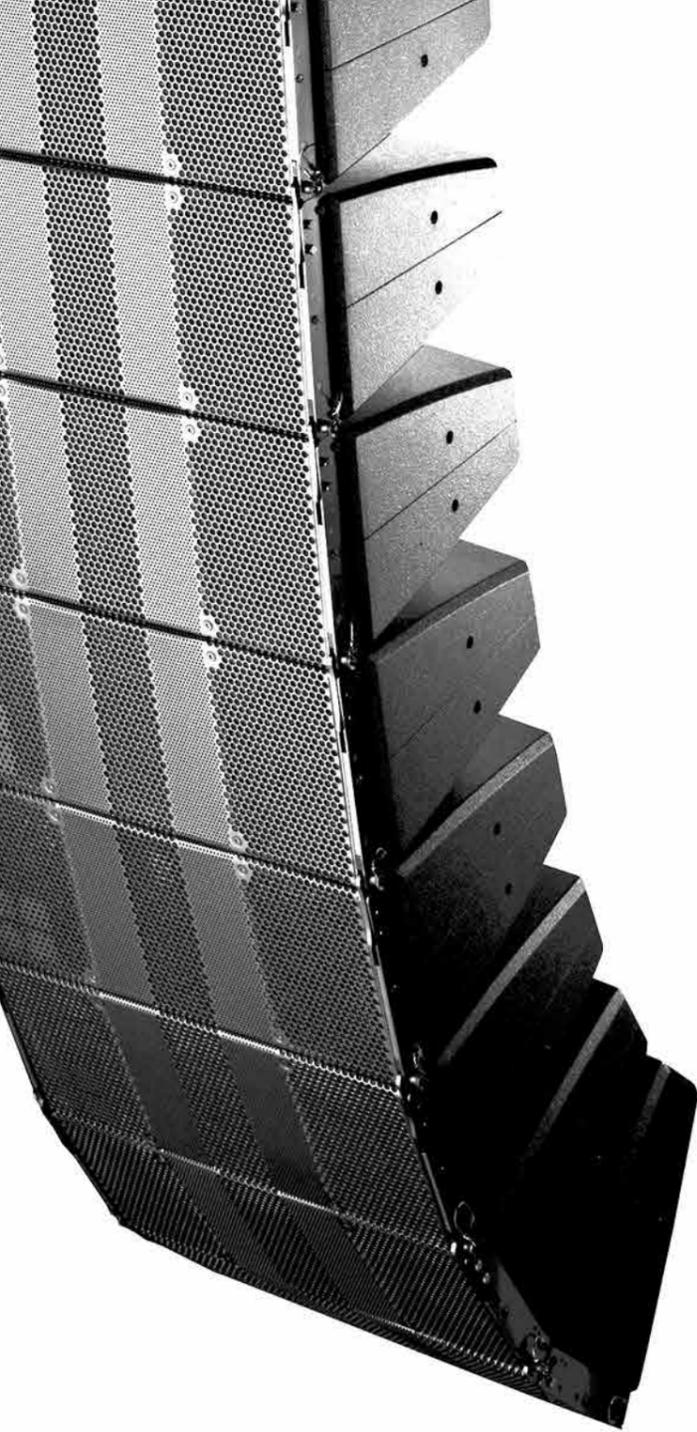
d&b System reality

d&b audiotechnikにとってのシステムとは、その名の通り単にラウドスピーカーだけではなく、アンプ、アクセサリ、ソフトウェアを備えた総合的なシステムを意味しています。d&b audiotechnikのアプローチは数多くのパーツを組み合わせるだけでなく、全てが相互にマッチする、音響システムを部分的にはなく全体としてお届けすることにあります。

す。個々のエレメントは厳密かつ正確に調整され、最高のパフォーマンスを達成するために慎重に統合されています。使いやすさを追求するため、完全にユーザーが定義可能なパラメーターが統合されており、リモートコントロール画面またはアンプ上でダイレクトに調整できるようになっています。

サウンド特性は、非常にニュートラルで、ユーザーは思うがままのサウンドを実現することができます。同時に、d&bではファイナンスサービス、サービス、サポート、経験豊富な販売網、教育、トレーニング、技術的情報等を総合的に提供しています。

これによって、いつでもどこでも、どのシステムでも一貫した、理想的な音響パフォーマンスが達成できるようになります。d&b Systemリアリティ、これが現実なのです。



T-Seriesは、2つの異なるラウドスピーカーテクノロジーを1つのパッケージとして提供し、d&b最小のラインアレイとして、またスタンドアローンのポイントソースシステムへ変換する工夫を備えた驚くべき性能をお届けします。技術の融合によって、安全拡声利得が絶対的に必要な状況でも、模範的な指向性制御を提供します。

これらの技術には双極状の低周波数ドライバー配置、高変位量のドライバー、回転型ホーンと音響レンズの独特な組み合わせが含まれます。T-Seriesの幅広い用途範囲は小規模から中規模に渡ります。控えめな視覚的デザイン、コンパクトな寸法、ハイパワー及び模範的な指向性能により、**T-Series ラウドスピーカー**は多くのミュージカル、会議、プレゼンテーション環境、テレビの生中継やオーケストラ演奏会に適した

選択になります。**Tラウドスピーカー**は特別に設計された目立たないリギングと取付を統合し、変化する環境に素早く簡単に対応でき、可搬型で、柔軟で構成可能な音響ソリューションを提供するという明確な視点で構成されています。Tiラウドスピーカーは、キャビネット構造や取付ハードウェアのみが異なります。これはアーティストやミックスエンジニアの好みのテクニカルライダーによって仕様が決まる

パフォーマンススペースの固定設備用途を前提にしております。Tiキャビネット及び取付ハードウェアは機械的に固定設備用途に合わせて設計してあります。また気候上厳しい環境に対応する耐候性オプションやインテリアデザインにマッチした特別色塗装オプションも用意されています。

The T-Series

2ウェイパッシブの**T10**ラウドスピーカーは、水平に定指向特性を約600 Hzまで維持するラインアレイ又は高い指向特性を持つポイントソースラウドスピーカーとしてのいずれの設定も可能です。水平指向性の正確な制御はクロスオーバー周波数レンジに渡って、大きくオーバーラップさせることによって向上させています。また、ラインソース又はポイントソースの切り替えは工具を使用せずに行うことができます。T10の高域ドライバーは垂直方向にラインソースの指向性を生み出すウェーブガイドホーンに取り付けられています。ホーンを90°回転すると、正確なポイントソースとしての指向性を垂直方向に変換し、T10をスタンドアローンのフルレンジラウドスピーカーとして使用できるようになります。

T10をポイントソースとして縦に配置すると、垂直指向性制御は同じようなサイズの2軸ラウドスピーカーよりも約1オクターブ低い周波数まで拡張します。

固定設備向けの**Ti10L**及び**Ti10P**ラウドスピーカーは、どちらも同じ特性共有しながら各種用途に向けて設計された異なるバージョンです。Ti10Lラウドスピーカーは、複数で構成されるラインアレイエレメントとして使用する用途で関連するリギングを内蔵しています。Ti10Pは、これらのラインアレイハードウェアは付属せず、ポイントソースのスタンドアローンラウドスピーカーとして使用できます。

T及び**Tiサブウーファー**はアクティブ駆動のバスレフレックスサブウーファーで15インチの高変位量なネオジウムドライバーを搭載し、それぞれT10とTi10と同じキャビネット幅とキャビネットに統合されたリギング金具を共有します。これらにより、低周波数帯域のヘッドルームを増加し、T10及びTi10コラムの帯域幅を47 Hzまで拡張します。

B4-SUBはモバイルアプリケーションでの使用を想定した、コンパクトなハイパフォーマンスカーディオイドサブウーファーで、2台の高変位量ネオジウムドライバーをカーディオイドセットアップで統合し、システム背後への不必要なエネルギーを除去します。このパッシブカーディオイドデザインは単独のアンブチャンネルで駆動可能で、システムはグラウンドスタック専用となっています。



T10ラウドスピーカー
(ラインソース設定)



T10ラウドスピーカー



Ti10Lラウドスピーカー



Ti10Pラウドスピーカー



Tサブウーファー



Tiサブウーファー



B4サブウーファー

d&bソフトウェアは、ラウドスピーカーシステムのシミュレーション、プランニングから、イベント中のリモートコントロール及びモニタリング、そして終了後にバラしを行う前にシステムパフォーマンスを検証するサービス機能まで、全システムのセットアップ工程を補助します。**ArrayCalc**シミュレーションソフトウェアにより、ラインアレイ、ポイントソース及びコラムラウドスピーカーまたサブウーファーをバーチャルに最適化でき、各会場に合わせて調整を行うことが可能です。

d&b**NoizCalc**ソフトウェアは、国際的標準規格を用いて単独、または複数のd&bラウドスピーカーシステムからの騒音放射をモデル化します。NoizCalcはArrayCalcからデータを抽出し、遠方への音伝播と相対減衰値を計算します。ArrayCalcでシミュレーションされたシステム全体は、会場のどこからでもアンブとラウドスピーカーを管理するために**R1**リモートコントロールソフトウェアを用いて、直感的なグラフィカルユーザーインターフェースへ同化されます。サービス機能も備えているため、必要な時にアンブのファームウェアアップデートが可能です。

d&bアンブはd&bラウドスピーカーとの使用のために特別に設計されており、d&bシステムアプローチの心臓部です。これらの機器は幅広い用途に対応する包括的なラウドスピーカー管理を提供する広範囲なデジタルシグナルプロセッシング機能と正確に得たいシステム特性とするための切替可能なフィルター機能を提供します。4チャンネルの**D20**アンブは、特に小規模から中規模なシステムで使用されるモバイルアプリケーションソリューションとして設計されています。固定設備向けの4チャンネル**30D**アンブは中程度の音圧レベルを必要とする会場で統合することができます。これらの2つのアンブは、ユーザーが広範囲に定義可能なパラメトリック、ノッチ、シェルビング及びアシンメトリックフィルターが設定可能な2つの16バンドイコライザーと、最大10秒のディレイ機能を提供します。

DS10オーディオネットワークブリッジは、Danteオーディオ伝送プロトコルとd&bアンブ間のインターフェイスとなり、16のAES3出力と提供します。Tラウドスピーカーには、運搬に関わるソリューションも用意されています。アンブツアーリングラックアッセンブリーは3台のD20アンブ、3台のD80アンブ、又は6台のD80アンブ用が用意されています。これらのラックには、DS10オーディオネットワークブリッジを予め実装したシステムラックでも供給が可能です。これらのラックには、主電源ディストリビューションユニット、コネクタインターフェース及びすべての内部ケーブル配線が装備されています。



D80 アンブ



30D アンブ



DS10オーディオネットワーク

T10 ラウドスピーカー

T10 ラウドスピーカー

T10キャビネットは、6.5インチドライバーが2台と1.4インチスロート径高域コンプレッションドライバーを搭載するパッシブ2ウェイデザインでラインソース又は高い指向係数を持つポイントソースラウドスピーカーとして使用することが可能です。

とてもコンパクトなラウドスピーカーデザインは回転型ウェーブガイド及びホーンと音響レンズのユニークな組み合わせで構成されます。ホーンは、フロントグリルを取り外さず、かつ工具を使用せずにラウドスピーカーの外から簡単に回転することができます。このラインとポイントソース設定位置の切り替えは、両側面部にある開口部から行うことができます。フロントグリルに統合されている音響レンズはラインアレイモードでのT10の水平指向特性90°を約600 Hzまで維持しますがレンズを介することでこれを105°まで広げます。ラウドスピーカーを縦型のポイントソースとして使用するときには、このレンズがラインソースの初期波面をカーブさせることで、90° x 35°の指向パターンを提供します。2台の6.5インチネオジウム低域ドライバーは、双極状に配置されており、より低い周波数においても優れた指向制御を提供します。

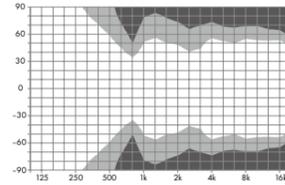
T10キャビネットは耐衝撃性仕上げが施されたポリウレタン一体成型ハードフォーム製で、ラインアレイリギングハードウェアはキャビネットに統合されています。ラウドスピーカーキャビネットの前面は、裏側に音響透過式フォームが取り付けられた頑丈なメタルグリルによって保護されています。

システムデータ

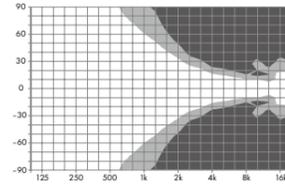
周波数特性(-5 dB標準設定)	68 Hz - 18 kHz
周波数特性(-5 dB CUTモード)	120 Hz - 18 kHz
C (Line/Arc設定, PS設定, 無響音場1m) ¹	
D6/10Dと使用する場合	129 • 127 dB
D20/30Dと使用する場合	132 • 130 dB
D80と使用する場合	132 • 130 dB
入力レベル(100 dB SPL/1m)	- 13 dBu

ラウドスピーカーデータ

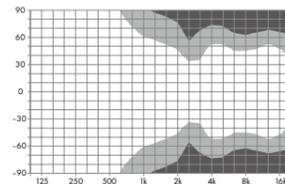
公称インピーダンス	16Ω
定格出力(RMS/ピーク 10 ms)	200/800 W
公称指向角度(ラインソース時, 水平)	105°
公称指向角度(ポイントソース時, 水平 x 垂直)	90° x 35°
コンポーネント	2 x 6.5インチ ネオジウム磁性体ドライバー
..... 1回転可能なウェーブガイドに取り付けられた1 x 1.4インチスロート径コンプレッションドライバー	
..... パッシブクロスオーバーネットワーク	
コネクター	2 x NLT4F/M
..... または2xNL4か2 x EP5を選択可能	
重量	11kg (24 lb)



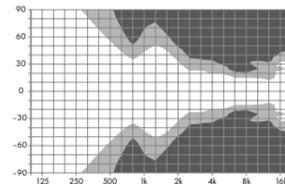
T10 ラインソース設定の水平指向特性²



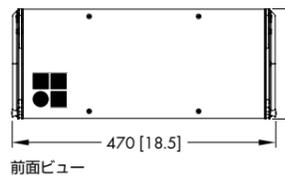
T10 ラインソース設定の垂直指向特性²



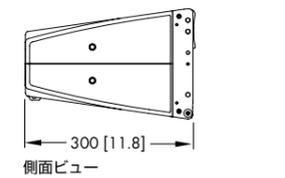
T10 ポイントソース設定の水平指向特性²



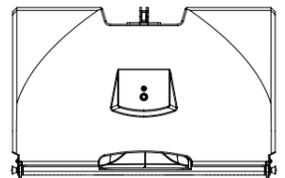
T10 ポイントソース設定の垂直指向特性²



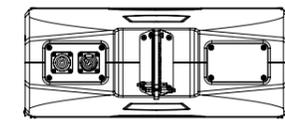
前面ビュー



側面ビュー



上面ビュー

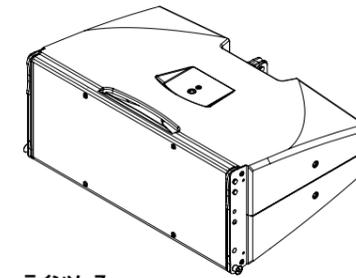


背面ビュー

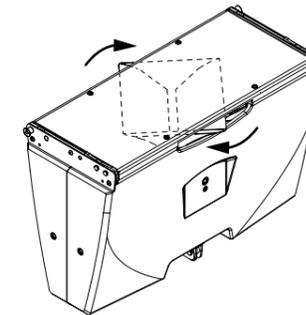
T10 キャビネット寸法 mm(インチ)

T10 エレクトロアコースティックコンセプト

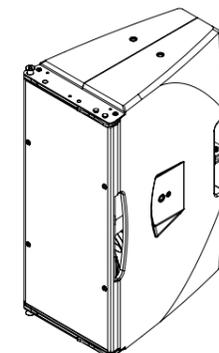
ホーンと音響レンズの付いた回転型ウェーブガイドの独特な組み合わせにより、T10は工具やフロントグリルの取外しを必要とせず、ラインソースからポイントソースモードへ外側から変換することができます。フロントグリルに統合されている音響レンズは、垂直でラインソースモード使用時の高域指向特性を90°を105°まで広げて提供します。ラウドスピーカーをポイントソースとして縦で使用するときには、レンズがラインソースの初期反射面をカーブさせることで、90° x 35°の指向パターンを提供します。



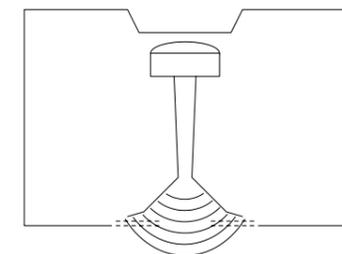
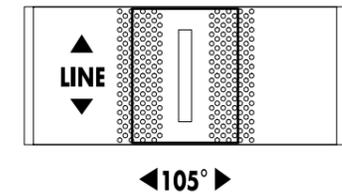
ラインソース



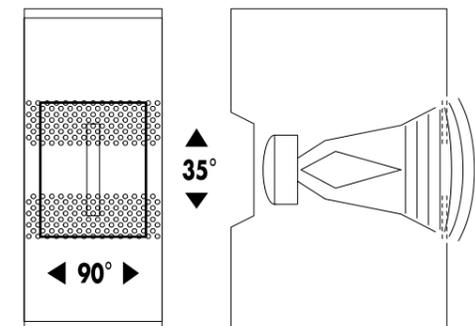
ホーンを回転する



ポイントソース



T10ラインソース時のホーンとレンズの関係



T10ポイントソース時のホーンとレンズの関係

¹ クレストファクター4のピンクノイズを用いた広帯域無補正でのピーク測定値

² 縦軸を放射角度、横軸を周波数とし、音圧レベルが軸上から6dB、-12dBとなるポイントを線で結び等音圧線(アイソバー)で表したものです。

Ti10L ラウドスピーカー

Ti10L ラウドスピーカー

Ti10Lラウドスピーカーは、ラインアレイとして配置するT10ラインアレイラウドスピーカーの固定設備バージョンです。モバイル用と固定設備用途バージョンは、リギングハードウェアのみ仕様が異なります。Ti10Lキャビネットは、6.5インチドライバーが2台と1.4インチスロート径高域コンプレッションドライバーを搭載するパッシブ2ウェイデザインです。とてもコンパクトなラウドスピーカーデザインは回転型ウェーブガイド及びホーンと音響レンズのユニークな組み合わせです。フロントグリルに統合されている音響レンズはラインアレイモードの高域指向特性を105°まで広げると同時に、それは垂直ラインソースに約600 Hzまで維持される90°水平分散を提供します。2台の6.5インチネオジウム低域ドライバーは、双極状に配置されており、より低い周波数においても優れた指向制御を提供します。

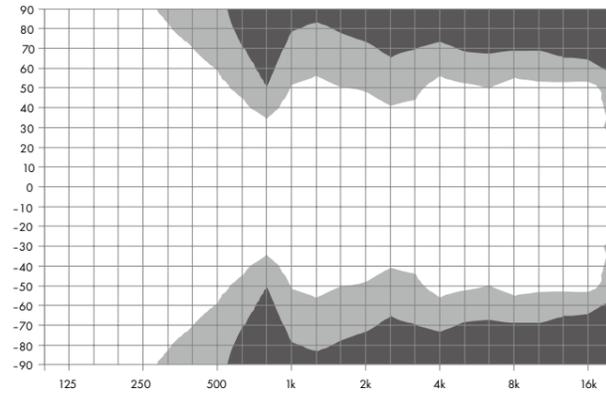
Ti10Lキャビネットは耐衝撃性仕上げが施されたポリウレタン一体成型ハードフォーム製で、ラインアレイリギングハードウェアはキャビネットに統合されています。この金具は、一旦設置が完了してしまえば、前から見ると目立ちにくくなります。ラウドスピーカーキャビネットの前面は、裏側に音響透過式フォームが取り付けられた頑丈なメタルグリルによって保護されています。

システムデータ

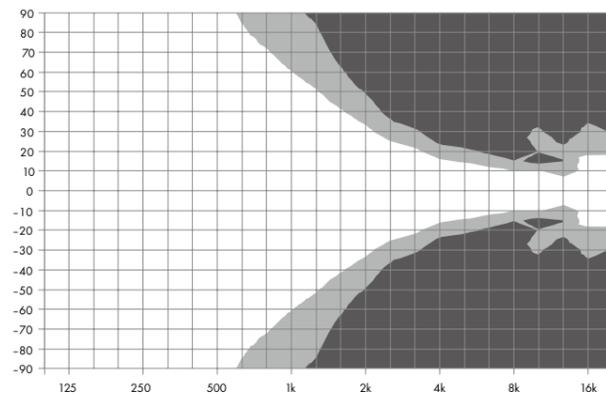
周波数特性(-5 dB標準設定).....	68 Hz - 18 kHz
周波数特性(-5 dB CUTモード).....	120 Hz - 18 kHz
最大音圧レベル(1m,無響音場) ¹	
D6/10Dと使用する場合.....	129 dB
D20/30Dと使用する場合.....	132 dB
D80と使用する場合.....	132 dB
入力レベル(100 dB SPL/1m).....	-13 dBu

ラウドスピーカーデータ

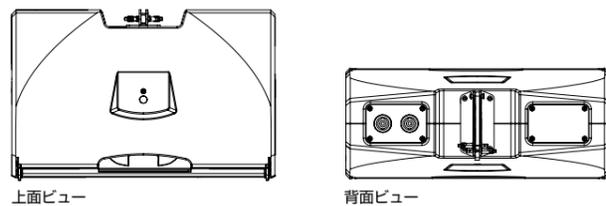
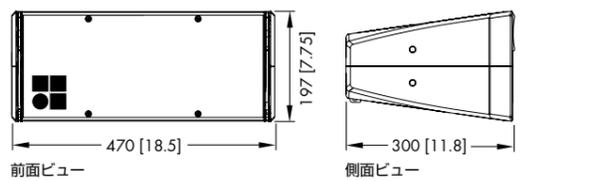
公称インピーダンス.....	16Ω
定格出力(RMS/ピーク 10 ms).....	200/800 W
公称指向角度(ラインソース時,水平).....	105°
コンポーネント.....	2 x 6.5インチ ネオジウム磁性体ドライバー
.....	回転可能なウェーブガイドに取り付けられた1 x 1.4インチスロート径コンプレッションドライバー
.....	パッシブクロスオーバーネットワーク
コネクター.....	2 x NL4
重量.....	11 kg (24 lb)



Ti10L 水平指向特性²



Ti10L 垂直指向特性²



Ti10L キャビネット寸法 mm(インチ)

¹ クレストファクター4のピンクノイズを用いた広帯域無補正でのピーク測定値
² 縦軸を放射角度、横軸を周波数とし、音圧レベルが軸上から6dB、-12dBとなるポイントを線で結び等音圧線(アイソバー)で表したものです。

Ti10P ラウドスピーカー

Ti10P ラウドスピーカー

Ti10Pラウドスピーカーは、ポイントソースとして配置するT10ラウドスピーカーの固定設備バージョンです。モバイル用と固定設備用途バージョンは、リギングハードウェアのみ仕様が異なります。

Ti10Pキャビネットは、6.5インチドライバーが2台と1.4インチスロート径高域コンプレッションドライバーを搭載するパッシブ2ウェイデザインで、水平及び垂直設置のどちらでも使用可能です。

とてもコンパクトなラウドスピーカーデザインは回転型ウェーブガイド及びホーンと音響レンズのユニークな組み合わせです。ホーンは、フロントグリルを取り外さず、かつ工具を使用せずにラウドスピーカーの外から簡単に回転することができます。この水平と垂直設定の切り替えは、両側面部にある開口部から行うことができます。フロントグリルに統合されている音響レンズはラインアレイモードでのT10の水平指向特性90°を約600 Hzまで維持しますがレンズを介することでこれを105°まで広げます。ラウドスピーカーを縦型のポイントソースとして使用する際には、このレンズがラインソースの初期波面をカーブさせることで、90° x 35°の指向パターンを提供します。

2台の6.5インチネオジウム低域ドライバーは、双極状に配置されており、より低い周波数においても優れた指向制御を提供します。

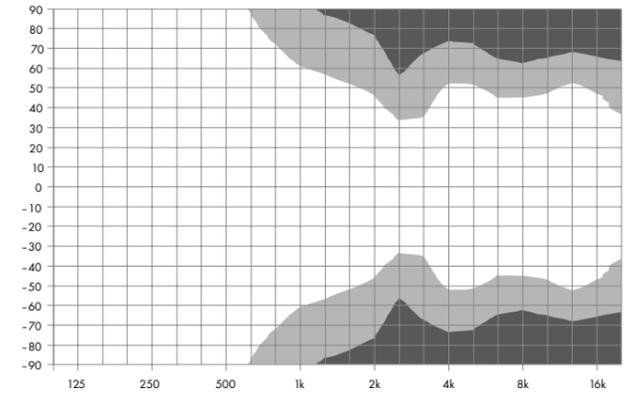
Ti10Pキャビネットは耐衝撃性仕上げが施されたポリウレタン一体成型ハードフォーム製で、固定設備用の金具を取り付けるネジ穴がキャビネットに統合されています。ラウドスピーカーキャビネットの前面は、裏側に音響透過式フォームが取り付けられた頑丈なメタルグリルによって保護されています。

システムデータ

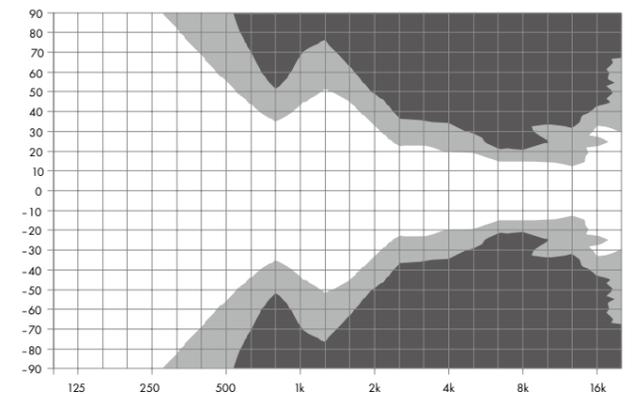
周波数特性(-5 dB標準設定).....	68 Hz - 18 kHz
周波数特性(-5 dB CUTモード).....	120 Hz - 18 kHz
最大音圧レベル(1m,無響音場) ¹	
D6/10Dと使用する場合.....	127 dB
D20/30Dと使用する場合.....	130 dB
D80と使用する場合.....	130 dB
入力レベル(100 dB SPL/1m).....	-13 dBu

ラウドスピーカーデータ

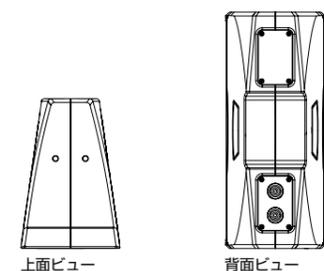
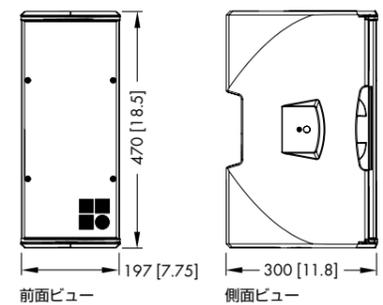
公称インピーダンス.....	16Ω
定格出力(RMS/ピーク 10 ms).....	200/800 W
公称指向角度(ポイントソース時,水平 x 垂直).....	90° x 35°
コンポーネント.....	2 x 6.5インチ ネオジウム磁性体ドライバー
.....	回転可能なウェーブガイドに取り付けられた1 x 1.4インチスロート径コンプレッションドライバー
.....	パッシブクロスオーバーネットワーク
コネクター.....	2 x NL4
重量.....	10 kg (23 lb)



Ti10P 水平指向特性²



Ti10P 垂直指向特性²



Ti10P キャビネット寸法 mm(インチ)

¹ クレストファクター4のピンクノイズを用いた広帯域無補正でのピーク測定値
² 縦軸を放射角度、横軸を周波数とし、音圧レベルが軸上から6dB、-12dBとなるポイントを線で結び等音圧線(アイソバー)で表したものです。

TとTi サブウーファー

TとTi サブウーファー

TとTi-SUBはネオジウムマグネットを用いた15インチの高変位量のドライバーを搭載した、アクティブドライブのバスレフレックスデザインで、T及びTiラウドスピーカーの低域のヘッドルームを、グランドスタックやアレイの上部に統合する、あるいは独立したコラムのフライングなど様々な組み合わせで補完するために使用することができます。両機種共にそれぞれ、SUBの上に機構的にT10、Ti10Lを取り付けるグランドスタックアプリケーションで補完することも可能です。

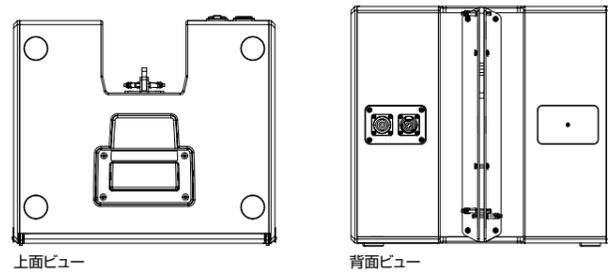
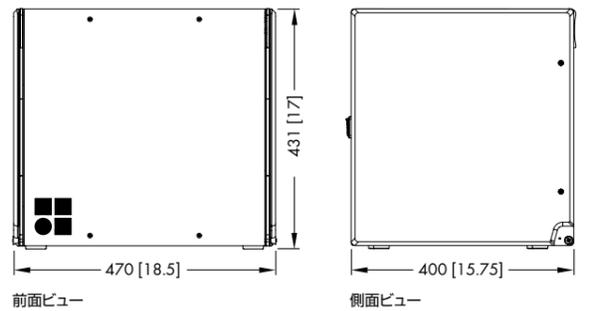
キャビネットは、キャビネット前面両サイドにある、必要時にスライドして出すリギングリンク、キャビネットの後方中心にあるスプレイリンクを使って、機械的に接続されます。すべての必要なリギングパーツはキャビネットに統合されています。T及びTi-SUBのキャビネットは船舶用合板製で、耐衝撃性仕上げが施されています。T-SUBキャビネットは上面部にトップパネル1箇所ハンドルを備えています。ラウドスピーカーキャビネットの前面は、裏側に音響透過式フォームが取り付けられた頑丈なメタルグリルによって保護されています。

システムデータ

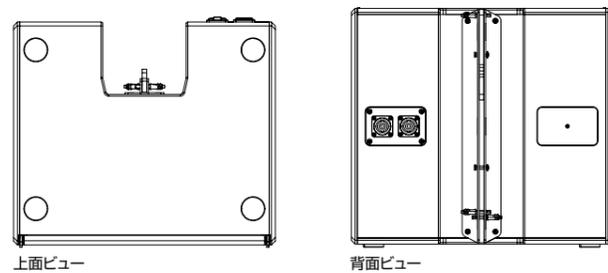
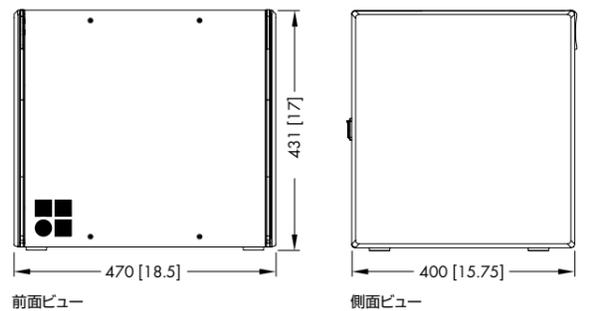
周波数特性(-5 dB標準設定)	47 - 140 Hz
周波数特性(-5 dB 100 Hz モード)	47 - 100 Hz
最大音圧レベル(1m,無響音場) ¹	
D6/10Dと使用する場合	127 dB
D20/30Dと使用する場合	130 dB
D80と使用する場合	130 dB

ラウドスピーカーデータ

公称インピーダンス	8 Ω
定格出力(RMS/ピーク 10 ms)	300/1600 W
コンポーネント	15インチ ネオジウム磁性体ドライバー
T-SUBコネクター	2 x NLT4 F/M
	または 2 x EP5 か 2 x NL4を選択可能
Ti-SUBコネクター	2 x NL4
重量	17 kg (37 lb)



T-SUBキャビネット寸法 mm(インチ)



Ti-SUBキャビネット寸法 mm(インチ)

B4 サブウーファー

B4 サブウーファー

B4-SUBは、単独のアンプチャンネルで駆動する、アクティブ駆動のカーディオイドサブウーファーで、2つの高変位量なネオジウムマグネットを使用したドライバーをカーディオイド構成で統合しています。前方に向けた15インチドライバーはバスレフレックス設計、後方に向けた12インチドライバーは、2つのバンドパスチャンバーを持つ構成となっています。この配置によって生み出されるカーディオイドパターンによってシステム後方へのエネルギーを減少するため、残響フィールドを大幅に減少し、その結果低周波数の再生における正確性が向上します。

B4サブウーファーはグランドスタック専用設計されています。B4-SUBキャビネットは船舶用合板製で、耐衝撃及び耐候塗装仕上げで、両側面にハンドルが装備されています。

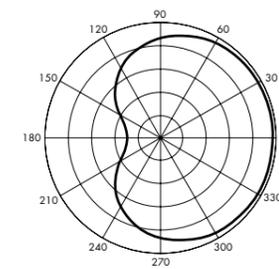
上面部のM20ネジ式フランジはd&bラウドスピーカースタンドワインダーM20を取り付けることができます。ラウドスピーカーキャビネットの前面は裏側に音響透過式フォームが取り付けられた頑丈なメタルグリルによって保護されています。底面にある2つのランナーは、キャビネットを擦り傷から保護します。これに対応して上面部に2つ対応する凹みが装備されているため、スタック使用時にキャビネットのズレを抑制します。

システムデータ

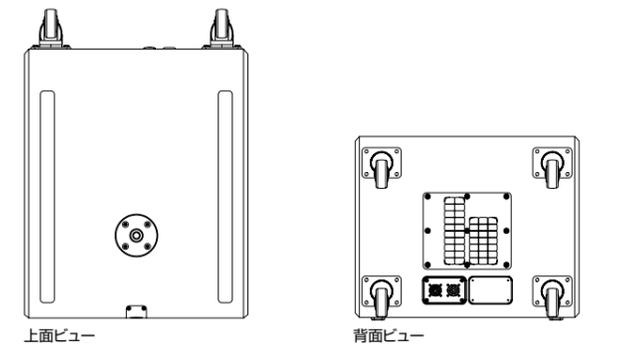
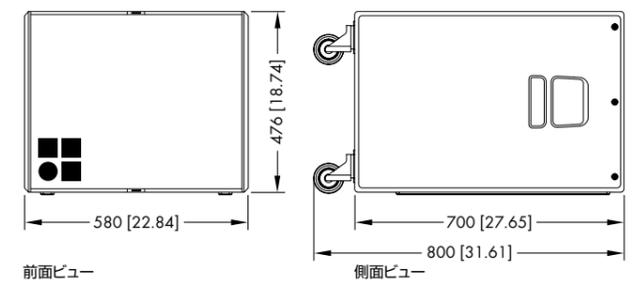
周波数特性(-5 dB標準設定)	40 - 150 Hz
周波数特性(-5 dB 100 Hz モード)	40 - 100 Hz
最大音圧レベル(1m,無響音場) ¹	
D6/10Dと使用する場合	128 dB
D20/30Dと使用する場合	131 dB
D80と使用する場合	131 dB

ラウドスピーカーデータ

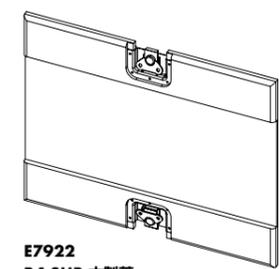
公称インピーダンス	6 ohms
定格出力(RMS/ピーク 10 ms)	500/2000 W
コンポーネント	15"/12" driver
前向き/後向き	15"/12" driver
コネクター	2 x NLT4 F/M
	または 2 x EP5 か 2 x NL4を選択可能
重量	44 kg (97 lb)



カーディオイドパターン



B4-SUBキャビネット寸法 mm(インチ)

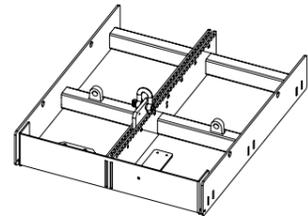


T-Series リギングとマウンティングアクセサリ

T-Series リギングとマウンティング例

Safety approval

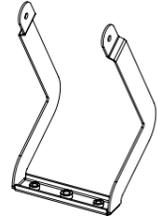
d&bラウドスピーカー及びアクセサリは、DGUV 17規格 (以前の BGV C1)と指令に関する適合性を必要とする状況下でのセットアップと使用に見合うように設計されています。



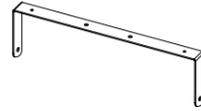
Z5370
T フライングフレーム
2 x Z5160 Q ロードアダプター付き



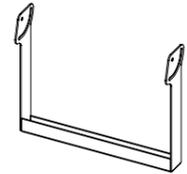
Z5374
Ti フライングバー



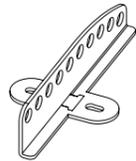
Z5371
T フライングブラケット



Z5372
T ホリゾンタルブラケット



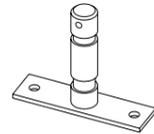
Z5373
T クラスターブラケット
T10/Ti10L 最大3台まで



Z5354
E8/E12 フライングアダプター



Z5355
E8/E12 フライングアダプターリンク



Z5010
TV スピゴット、固定プレート付



Z5015
フライングアダプター-02用TVスピゴット



Z5029
M10用TVスピゴット



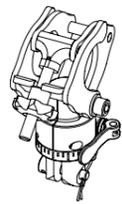
Z5024
ラウドスピーカースタンドアダプター



Z5034
M10 スタンドアダプター



Z5012
TVスピゴット用パイプクランプ
取り付け直径最大70 mmまで



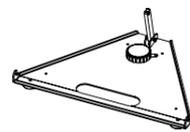
Z5147
ロータクランプ
荷重上限500kg以内
取り付け直径最大
51 mmまで



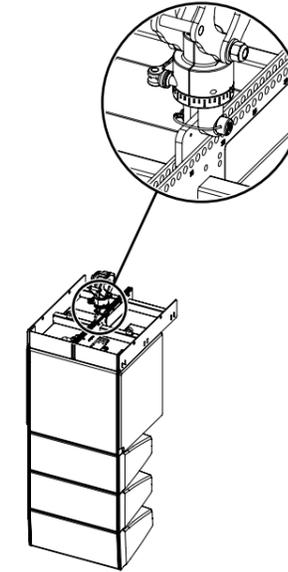
Z5155
Q ホイストコネクター
チェーン



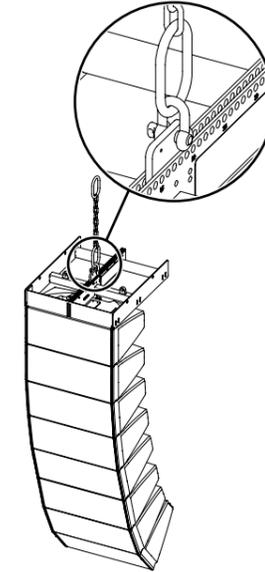
E6507
1t シャックル



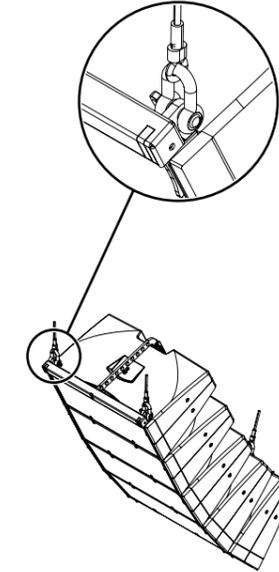
Z5375
T ベースプレート
T10をB4とB6/V/Y-SUBと
組み合わせ時のみ



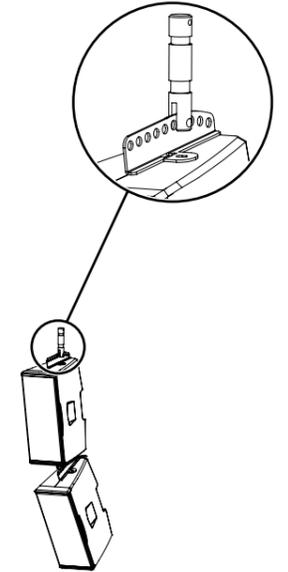
T10/T-SUBまたはTi10L/Ti-SUBと
Z5147ロータクランプと
Z5370Tフライングフレームで
使用するラインアレイ構成



T10またはTi10Lと
Z5155 Qホイストコネクターチェーン、
Z5370 TフライングフレームとE6507 1t
シャックルで使用するラインアレイ構成



Ti10LとZ5374 Tiフライングバーと
E6507 1tシャックルで使用する
ラインアレイ構成



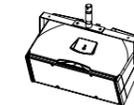
T10またはTi10Pポイントソースと
Z5354 E8/E12フライングアダプター、
Z5355 E8/E12フライングアダプター
リンクとZ5015 02用TVスピゴットで
使用する垂直アレイ構成



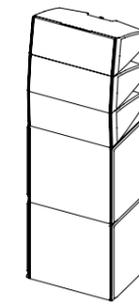
3台のT10またはTi10Lと
Z5373 Tクラスターブラケット、
Z5010 TVスピゴット 固定プレート付と
Z5012 TVスピゴット用パイプクランプで
使用するラインアレイ構成



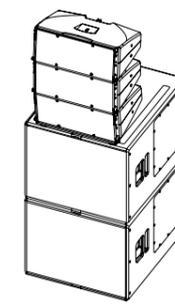
ポイントソース設定のT10またはTi10Pと
Z5371 Tフライングブラケット、
Z5010 TVスピゴット固定プレート付と
Z5012 TVスピゴット用パイプクランプで
使用する構成



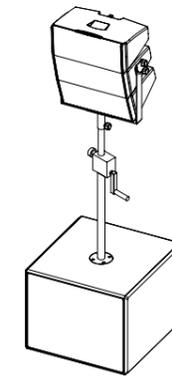
ポイントソース設定のT10またはTi10Pと
Z5372 Tホリゾンタルブラケットと
Z5010 TVスピゴット固定プレート付きと
使用する構成



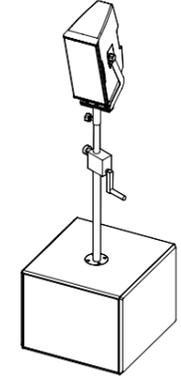
T10/T-SUBまたはTi10L/Ti-SUBの
グランドスタック



T10/B4-SUBを
Z5375 Tベースプレートを使用して
グランドスタックする構成



T10またはTi10Lと
Z5373 Tクラスターブラケット、
Z5013 M20付ラウドスピーカースタンドア
ダプター付とZ5024 ラウドスピーカースタ
ンドアダプターでY-SUBにラインアレイ
構成で取り付け例



ポイントソース設定のT10またはTi10Pを
E15X-SUBにZ5371 Tフライングブラケット、
Z5013 M20付ラウドスピーカースタンドと
Z5024 ラウドスピーカースタンドアダ
プターを使用して取り付け例

Ti 耐天候仕様と特別色塗装オプション

T-Series ケース

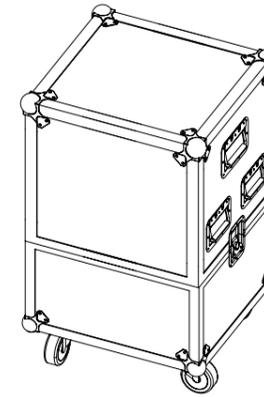
耐天候性及び特別色のオプションはTiバージョンのキャビネットの注文でのみ利用可能です。

耐天候性(WR)オプション

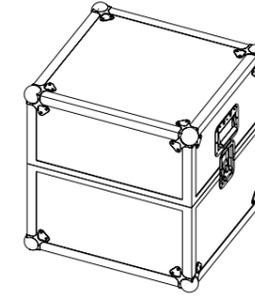
WRオプションにより、周辺の天候環境が変わるような場所でもラウドスピーカーを使用することができますが、屋外でラウドスピーカーを恒久的に保護せずに使用することを保証するものではありませんので、キャビネットを屋外でWRオプション付で使う場合でも、常にスピーカーが水平より下向きになるようにし、付加的な雨除けやカバーを用意してください。耐天候性オプション仕様のTiラウドスピーカーはコネクタが無い代わりにH-07-RN-F 2 x 2.5 mm²/AWG 13の固定ケーブルが5.5 m (18 ft)の長さ、またはご希望の長さに合わせた固定ケーブルで提供されます。

特別色塗装(SC)オプション

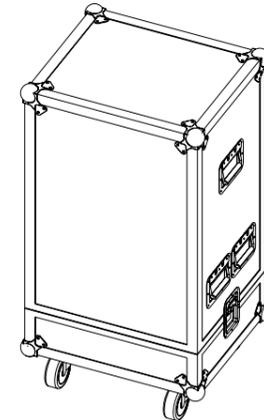
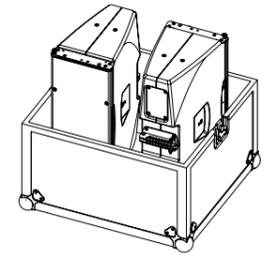
すべてのラウドスピーカーキャビネットとほぼ全てのアクセサリは、RALカラーの中からほぼ全ての色にオプションで塗装することができます。しかしながら、チェーン、固定用ネジ、シャックル、アイボルト及びネジ類はペイントできません。メタリック塗装のような仕上げも応相談で可能です。メタルグリルの背面に取り付けられている音響透過式フォームも指定されたRALカラーでペイントされます。



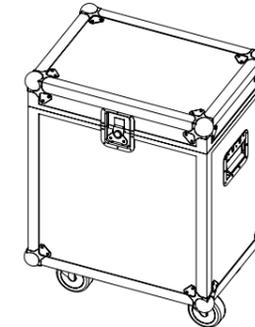
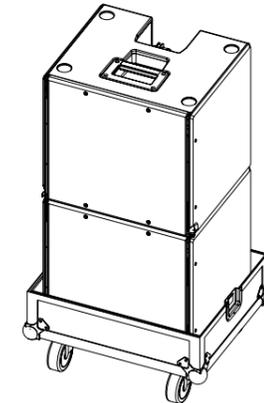
E7451
4xT10ツアーリングケース



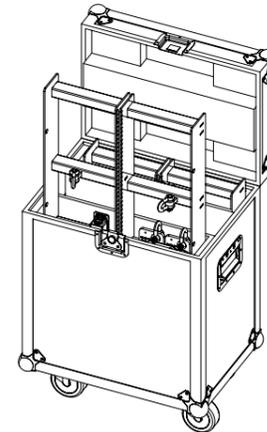
E7452
2xT10ツアーリングケース



E7453
2xT-SUBツアーリングケース



E7455
2xTフライングフレームツアーリングケース

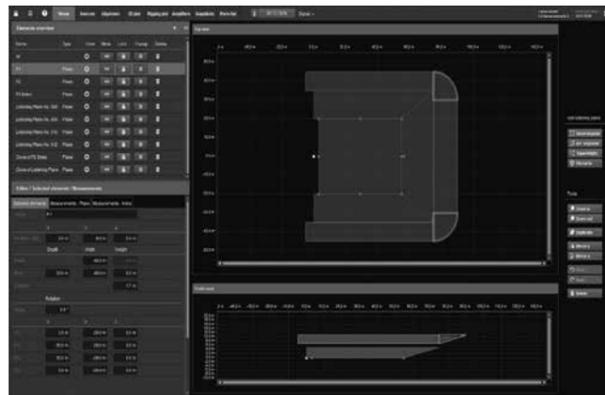


d&b ArrayCalcシミュレーションソフトウェア

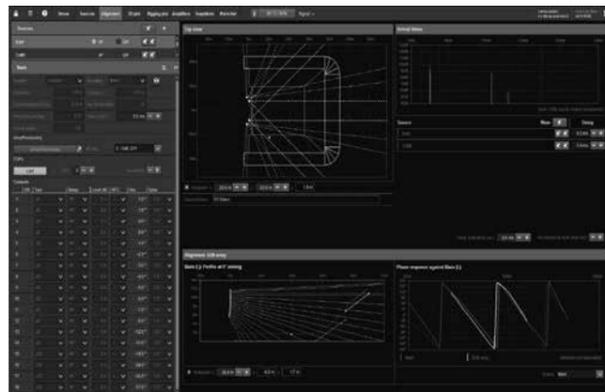
d&b ArrayCalcシミュレーションソフトウェアは、d&bラインアレイ、コラム及びポイントソースラウドスピーカー、さらにはサブウーファー向けの予測ツールです。これは音響設計、パフォーマンス予測、アライメント、リギングと安全性パラメーターと関連したすべてのタスクのための包括的ツールボックスです。安全性の理由から、d&bラインアレイはd&b ArrayCalcシミュレーションソフトウェアを使用して設計する必要があります。d&b ArrayCalcはMicrosoft Windows¹(Windows7以降)及びMac OS X²(10.7以降)OS用のネイティブなスタンドアロンアプリケーションとして利用可能です。d&bリモートコントロールネットワークとの組み合わせで、これはモバイル用途でのセットアップとチューニング時間を大幅に減らすことができ、設置をプランニングする時に正確なシミュレーションができます。Venueタブから設定するリスニングプレーンは、特定の会場内での様々な客席をリスニングプレーンとして3次元で定義できます。リスニングプレーンは、バルコニー席や、サイド席、アリーナ、円形の会場やフェスティバルなどの形状に合わせた設定が可能です。補助機能としてレーザー距離計と傾斜計で測定した値から正確な寸法を設定することも可能となっています。

シミュレーション

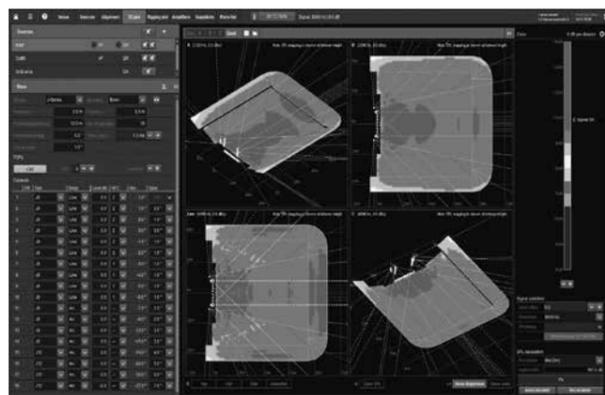
1つのプロジェクトファイルには、フライング設置のアレイ、サブウーファーのみのコラムを単独、またはベアアレイとして最大14箇所まで定義することができます。ほぼ全てのd&bポイントソースラウドスピーカーのラインナップとスタックのSUBアレイは最大51箇所まで追加することも可能です。これら全てのコンポーネントは用途によって、メイン、アウトフィル、ニアフィルやディレイとして自由に配置することが可能です。位置、向き、エイミング、そしてカバレッジの詳細が表示されます。距離に対するレベル供給状態は、特定の帯域の周波数や広帯域周波数を入力信号として高い分解能でリアルタイムに計算されます。包括的シミュレーションは、入力レベル、すべてのシステム設定(CUT、CPL、HFC、INFRAなど)、リミッターのヘッドルーム及び空気吸収を考慮に入れつつ、システムの実際の性能の詳細を予測してモデル化します。このモデルには、例えばビデオスクリーンといったような音響に対して影となる部分を作り出す障害物も追加することができます。計算には、これらの障害物だけではなく、突き出しているバルコニー席のような場合であっても、音響的なシャドウの影響を考慮します。所定のアレイが耐荷重内に収まっているかを確認するために、すべてのリギングコンポーネントも含むアレイの荷重状態が正確に計算されて表示されます。サブウーファーアレイの設計は、カバレッジとポラークラウド予測を補助として行います。専用のアルゴリズムによって、ユーザーがサブウーファーの位置やカバレッジを設定すると、それに基づいて得たい拡散パターンとなるように適切なディレイ設定値が計算されます。また、アライメントタブでは、異なるソースのディレイを合わせたり、客席の一箇所にある設定可能なテストポイントにおける到達時間や音圧レベルを表示したりすることができます。グラウンドスタックのSUBアレイとフライングシステムのアライメントでは、サブアレイとフライングシステム両方の位相特性を任意のテストポイントで計算します。



Venue画面



Alignment画面



3Dプロットクワッドビュー画面

これらのシミュレーションはリアルタイムでの個々のソースに対するディレイタイムの変化を反映しています。ArrayCalcシミュレーションソフトウェアは、さらなる詳細情報とチュートリアルビデオとともに、www.dbaudio.comから入手できます。

予測

音量供給の結果は、すべてのアクティブなソース間の相互作用を考慮して計算され、オーディエンスエリアを3Dでビューに回転やズーム可能マッピングで表示し、グラフィックファイルとして出力することもできます。EASEやDXFでのデータ出力機能も利用できます。アレイの座標、寸法や重量情報を含むリギングプロットと実際に必要となるコンポーネント全てを含むパーツリストも出力と印刷が可能です。

d&b ArrayCalc Viewerアプリは、設置や吊り下げに必要な重要な情報をモバイル機器で閲覧できるようにします。これはシステムが一旦設計、計算され、最適化されるとdbac2又は、dbevファイルとして保存されるのでメール、AirDropで共有したり、iOSやAndroid機器へダウンロードすることが可能となります。

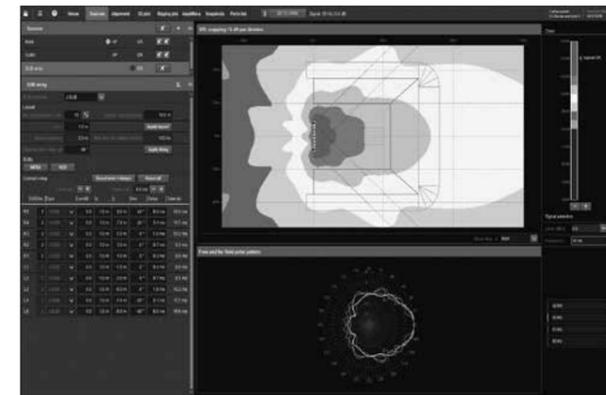
ArrayProcessing

Array Processing機能は、オーディエンスエリア全体に対するラインアレイコラムの機構的なく垂直カバレッジで決定された音色(分布)及び音量(空間)性能をパワフルなフィルター演算を適用して最適化します。これはd&b ArrayCalcシミュレーションソフトウェア内で、客席の音色バランスと音量供給目標を定めることができます。同時に意図的に音量の低いゾーンを作り出すような場合、特定の音量低下やオフセットをそのエリアに適応させることもできます。

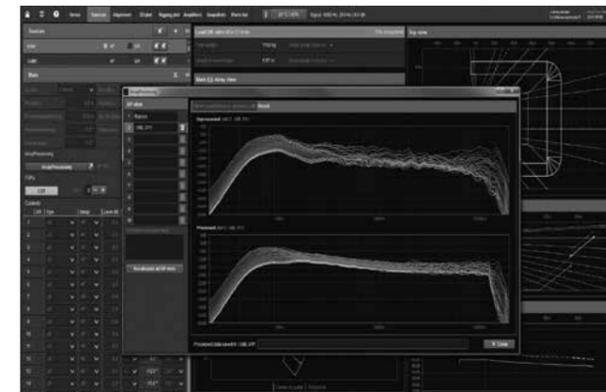
Array Processingでは目標とする性能を得るためにFIRとIIRフィルターの組み合わせを各キャビネットに適用しますが、追加で生じる潜在遅延時間は5.9msのみとなります。カバーする距離全体での均質な特性を向上させるだけでなく、空気吸音の補正もシームレスに向上させることができます。このArray Processingは、全てのd&bラインアレイに対して同じ周波数特性目標を採用しているため、アレイの長さやスプレッド角度設定などに関係なく全てのシステムが一定の音色バランスを供給します。これらの結果によって、音色の一貫性と定義された音量を拡張されたカバレッジを提供し、より長距離や急勾配の客席をカバーできる一定な拡散とシステム全体の指向性が実現されます。

R1リモートコントロールソフトウェア

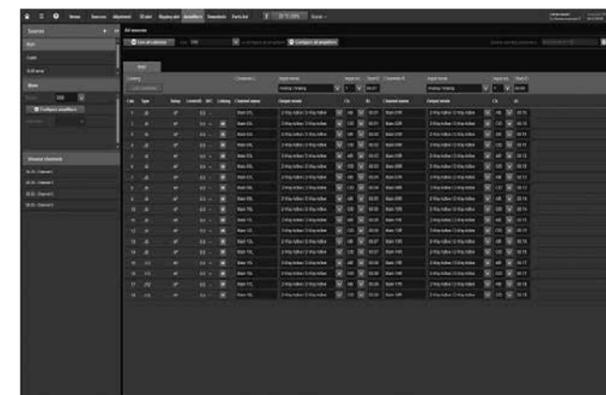
R1は、ArrayCalcで定義されたデータを使用して、シミュレーションされたシステム、ラウドスピーカー、アンプ、リモートID、グループ、Array Processingのデータ、及びすべての構成情報の詳細一式を含んだ直感的なグラフィカルユーザーインターフェースを作り出します。このワークフローにより、手動でデータを一つのソフトウェアプログラムから他のプログラムへ移動する必要がなくなります。



Sources, SUBアレイ画面



ArrayProcessing画面



アンプ設定画面

¹ Microsoft Windowsはアメリカ及び/又は他国におけるMicrosoft Corporationの登録商標又は商標です。
² Mac OS Xはアメリカ及び他国において登録されたApple Inc.の商標です。

d&b NoizCalcイミッションモデルソフトウェア

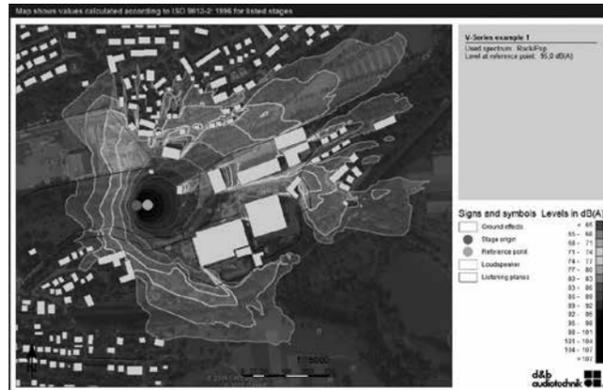
d&b NoizCalcソフトウェアは、国際基準を使用してラインアレイやサブウーファーアレイのような複雑な要素でコヒーレントに放射されるソースからのファースフィールドにおける騒音をモデリングします。屋外ライブイベントの開催許可やライセンスを得るには、騒音が周辺地域に与える影響についての予測を記載した公式な証明が必要となる場合が多くなっています。システムの指向性や方向の組み合わせを綿密に計画することで、イベント会場外に漏れる騒音を予測することができます。NoizCalcは、d&b ArrayCalcシミュレーションソフトウェアから複合ラウドスピーカーの全てのデータと基準ポイントを用いて、特定の気象条件下における、1つ以上のd&bラウドスピーカーシステムのファースフィールドに向けた音の伝搬と相対減衰値を計算してシナリオを作成します。

その計算結果は、オーディエンスのリスニングゾーン周辺のエリアに対する騒音状態を3Dの地形マップ上に表示します。この視覚的表示はファースフィールドにおける実際のシステムの性能を示しており、それによりユーザーの皆さんは、周辺への騒音漏れ、騒音規制や会場外の規制を満たしつつ、観客に対しても最適化することができます。このような結果が信頼性のあるものとするため、NoizCalcは複数で構成されるラインアレイ、サブウーファーアレイやディレイシステムで構成されるラウドスピーカーシステムの相互間の影響を考慮するために位相情報を含んだ音波の付加や減算に関する計算は、複素数データを含んで行います。

NoizCalcは、国際的に広く知られている規格、ISO 9613-2またはNord2000の計算基準に基づいて、ファースフィールドにおける騒音をモデリングします。地表面の特性は、その表面の吸収性や反射性に基づいて設定することができます。かつエリアが体積によって減衰するような詳細の設定も可能です。また建物も計算に考慮することができ、最大反射回数設定によって計算する反射回数を調整します。湿度や気圧、気温のパラメーターにより、正確な空気吸音係数が考慮されていることを約束します。ISO 9613-2には限定的な気象情報が必要で、最悪のケースのシナリオを想定することができます。より洗練された伝播モデル(Nord2000)では、気象条件をより細かく取扱うことができ、風の情報も含めたモデリングが可能です。d&b NoizCalc騒音モデリングソフトウェアは、さらなる情報とチュートリアルビデオとともに、ご登録頂ければwww.dbaudio.comからダウンロードできます。このソフトウェアは、環境騒音予測のための専門ソフトウェア開発者であるSound PLANとの協力により開発されました。



編集画面



グラフィックプロット

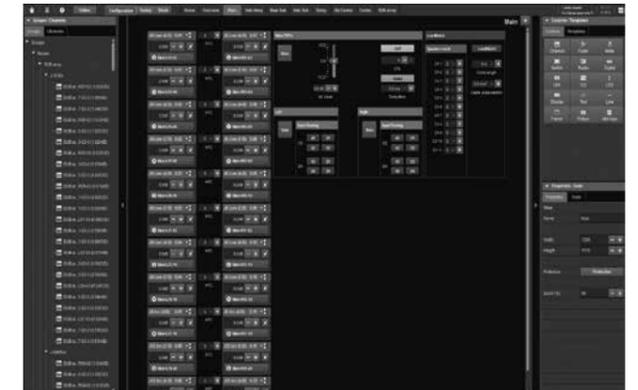
d&b R1リモートコントロールソフトウェア

d&bリモートネットワークのリモートコントロール機能により、コントロールルームのコンピューターからでも、ミキサーの位置からでも、ホールにあるワイヤレスのタブレットからでも、ネットワークのどこからでもd&bスピーカーシステム全体の集中コントロールとモニタリングを行うことができます。このd&bリモートネットワークを通じて、システムの詳細までのコントロールや機器の診断情報など、すべての機能に集中アクセスすることで、d&bシステムアプローチが持っている全ての潜在能力を引き出します。典型的なユーザーワークフローでは、d&bリモートネットワークはArrayCalcシミュレーションソフトウェアで最適化した設定を使用し、これをネットワーク内のすべてのアンプに適用して行います。ArrayCalcからの設定がインポートできることにより、システム構成が迅速に使用可能になりますので、システムの確認や微調整により多くの時間を割くことができます。

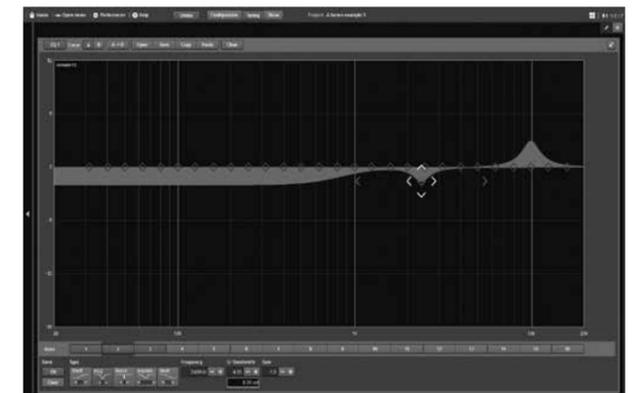
d&bアンプのフロントパネルで操作できるすべての特徴や機能は、R1リモートコントロールソフトウェアで遠隔操作及び/又はモニタリングすることができます。これによりアンプの各チャンネルをコントロールすることができます。グループ化すると、ボタン又はフェーダーで、全体のシステムレベル、ゾーンレベル、イコライザーやディレイ、電源ON/OFF、MUTE、さらにCUT/HFA/HFCやCPLなどのラウドスピーカーの固有機能であるフィルタースイッチをコントロールすることができます。オフラインモードは、実際にアンプが接続されていない場合でもイベントの事前準備を行えるように用意されています。d&bシステムチェック機能は、システムが事前に定義されたコンディションで動作しているかをチェックする機能です。アレイ検証機能は、アレイ内のラウドスピーカーの物理的位置を自動的に特定して、そのシステムが計画通りに正しく結線されているかを検証します。広範囲に渡ってシステム設定を保存したり、読み出すことができるため必要に応じて設定を繰り返すことが可能となります。モバイルアプリケーションでは、プロジェクトファイルは別の場所にある同一機種に機材が変わっても簡単に調整することができます。固定設備プロジェクトでは、現場の必要性に応じてシステムインテグレーターは、d&bリモートネットワークが異なる制御レベルのアクセスとなるように設定することが可能です。例えば、日常使用の電源ON/OFF操作と複雑な機能にアクセスする詳細な操作には個別にアクセスを制限するためにパスワード保護が利用できます。インプットとロードモニタリングにより固定設備のオペレーターは常に最適なパフォーマンスでシステムが使用できることを確実にします。また、R1リモートコントロールソフトウェアは、EthernetとCAN-Busを同時に使用しようとしてd&bアンプを遠隔操作することも可能です。このソフトウェアはタッチスクリーンやマウス、キーボードと使用できるように最適化されており、Microsoft Windows¹(Windows 7以降)及びMac OS X²(10.7以降)両方のOSで動作します。詳細な情報は、d&bアンプとソフトウェアのカタログに記載されており、www.dbaudio.comよりダウンロードの上で参照ください。



ホーム画面



リモートの設定画面



16バンドイコライザー画面

¹ Microsoft Windowsはアメリカ及び/又は他国におけるMicrosoft Corporationの登録商標又は商標です。
² Mac OS Xはアメリカ及び他国において登録されたApple Inc.の商標です。

d&b アンプ

d&bアンプは、d&bラウドスピーカーを駆動するために特別に設計されており、d&bシステムリアリティの心臓部の役割を担っています。そして内部には、用途に応じたニーズを完全に満たすため、切り替え可能なフィルター機能、ユーザーが定義可能なコントロールが行えるリモート機能、等後半に渡るラウドスピーカーマネージメント機能を提供するためにデジタルシグナルプロセッシングが搭載されています。各ラウドスピーカーの機種設定には一貫した結果と最適なパフォーマンスを提供するために包括的な保護やイコライゼーション、クロスオーバー設定が組み合わされています。d&bアンプは、パッシブ設定用のデュアル

チャンネルモードや、2つのチャンネルを1つの出力コネクタから接続できることを可能にするMix TOP/SUBモード、2つのチャンネルの出力を1つのコネクタへ出力して適切なスピーカーをアクティブ駆動する2ウェイアクティブモードなどの異なるスピーカー設定に対して異なる出力構成を提供します。

d&bの切替可能なフィルター機能は、使用する用途に合わせるために提供されます。このフィルター機能の例としては、CSA(カーディオイドサブウーファーアレイ)や

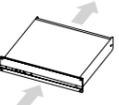
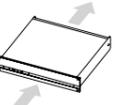
HFC(高周波補填)モードが挙げられます。CSAは、後方へのエネルギーを最小限にすることで低周波の指向性制御を向上し、HFCは、フィールドのオーディエンスエリアをカバーするラウドスピーカーの空気吸収を補正します。

これらの機能に加え、d&bサブウーファーとともに使用するときTOPラウドスピーカーの低域をカットするCUTや、他のラウドスピーカーに近接したり、硬い物体に近接して設置される時に生じるラウドスピーカーのカップリング効果を補正するCPL、さらにラウドスピーカー離れて聴いているような聴こえ方を模して設定する機能であるHFAなど

様々なフィルターのセットが用意されています。

これらのアンプ機器は広範囲のユーザー定義可能なイコライザー及びディレイ機能を提供するため、シグナルチェーンの外部プロセッシング機器の必要性を排除します。すべてのd&bアンプは、ネットワーク内のどこからでもシステムの遠隔操作や管理ができるように、d&bリモートネットワークと統合化することができます。d&bアンプとソフトウェアのカタログに記載されておりますので、www.dbaudio.comよりダウンロードの上ご参照ください。

d&bアンプの比較表

	D20	30D	10D	D6	D80
ユーザーインターフェイス	エンコーダー/ TFTカラータッチスクリーン	LEDインジケーター	LEDインジケーター	エンコーダー/液晶ディスプレイ	エンコーダー/ TFTカラータッチスクリーン
出力チャンネル数	4	4	4	2	4
入力チャンネル数	4xAES3 または4 X アナログ または2 X AES3と2 X アナログ	4xAES3 または4 X アナログ	4xAES3 または4 X アナログ	2 x AES3 または 2 X アナログ	4 x AES3 または4 X アナログ または2 x AES3と2 X アナログ
レイテンシー	0.3 msec	0.3 msec	0.3 msec	0.3 msec	0.3 msec
ユーザーイコライザー(1チャンネルあたり)	2 x 16-band	2 x 16-band	2 x 16-band	4-band	2 x 16-band
ディレイ	10 sec/3440 m	10 sec/3440 m	10 sec/3440 m	340 msec/116.9 m	10 sec/3440 m
最大出力電力 (THD+N < 0.5%、クレストファクター12)	4 X 800W 8Ω時 4 X 1600W 4Ω時	4 X 800W 8Ω時 4 X 1600W 4Ω時	4 x 350 W 8Ω時 4 x 700 W 4Ω時	2 x 350 W 8Ω時 2 x 600 W 4Ω時	4 x 2000 W 8Ω時 4 x 4000 W 4Ω時
出力ルーティング	Dual Channel, Mix TOP/SUB 2-Way Active	Dual Channel, Mix TOP/SUB 2-Way Active	Dual Channel, Mix TOP/SUB 2-Way Active	Dual Channel	Dual Channel, Mix TOP/SUB 2-Way Active
出力コネクタ	NL4と中心にNL8	Phoenix Euroblock	Phoenix Euroblock	NL4	NL4/EP5 plus central NL8
GPIOコネクタ、5ポート	No	Phoenix Euroblock	Phoenix Euroblock	No	No
ケーブル補填機能	LoadMatch	LoadMatch	LoadMatch	No	LoadMatch
電源部	アクティブPFC付き ユニバーサルレンジの スイッチモードパワーサプライ	アクティブPFC付き ユニバーサルレンジの スイッチモードパワーサプライ	アクティブPFC付き ユニバーサルレンジの スイッチモードパワーサプライ	アクティブPFC付き自動検知式 スイッチモードパワーサプライ	アクティブPFC付き ユニバーサルレンジの スイッチモードパワーサプライ
主電源電圧	100 - 240 V, 50 - 60 Hz	100 - 240 V, 50 - 60 Hz	100 - 240 V, 50 - 60 Hz	100 - 120/220 - 240, 50 - 60 Hz	100 - 127/208 - 240 V, 50 - 60 Hz
重量(kg/lb)	10.8/23.8	10.6/23.4	10.6/23.4	8/17.6	19/42
寸法	2 RU x 19" x 460 mm	2 RU x 19" x 435 mm	2 RU x 19" x 435 mm	2 RU x 19" x 353 mm	2 RU x 19" x 530 mm
リモート	Ethernet/CAN経由のOCA	Ethernet/CAN経由のOCA	Ethernet/CAN経由のOCA	CAN	OCA via Ethernet/CAN
エアフロー					

d&b アンプの操作

アンプのコントローラー設定

Arc、LineおよびPS(ポイントソース)モード

T10/Ti10Lラウドスピーカーをラインアレイとして使用するときはLineかArcモードを選択します。この選択は、アレイを構成する曲率によって決定します。Line設定は、4台以上のキャビネット直線状のロングローセクションを構成する時に、隣接するキャビネット間のスプレイ角度が0°から2°の場合に選択します。Arc設定は、キャビネットをアレイのカーブセクションに使用する時に、隣接するキャビネット間のスプレイ角度が3°以上となる場合に選択します。

一般的なアレイ構成では、これらの設定を組み合わせ使用します。PS設定は、Ti10Pを水平又は垂直方向で使用するとき、またはT10を1台のポイントソースラウドスピーカーとして使用する時に選択します。

CUTモード

CUTを設定すると、キャビネット低周波数レベルが減少し、d&bアクティブサブウーファーと使用するよう構成されます。

HFCモード

HFC(高域補填、LineとArcモードのみ)設定は、ラウドスピーカーをファーストフィールドのリスニングポジションをカバーするために使用する時に生じる高周波数の空気吸音による影響を補填します。HFCモードには、2種類設定が用意されており、必ず次のような距離をカバーするキャビネット用にも使用してください。HFC1は、25 m (80 ft) と 50 m (160 ft) の間の距離、HFC2は、50 m (160 ft) 以上の距離を目安にします。これによって、近隣の客席間の正確なサウンドバランスを保つことができ、またアレイを駆動するすべてのアンプに同一の信号を送ることができます。

HFAモード

HFAモード(高周波減衰、PS設定のみ)を選択すると、高域の特性がロールオフします。この機能は、ラウドスピーカーをニアフィルやディレイとしてリスナーに近接して設置する時に、自然でバランスの取れた周波数特性を供給します。HFAは1 kHzから徐々に始まり、10 kHzで約3 dBまで減衰します。このロールオフは、典型的な残響のある空間やホールでシステムから離れた場所で聴く周波数特性の減衰と似せるように設定されています。

CPL機能

CPL(カップリング)機能は、キャビネット同士を近接して設置する際に盛り上がる低域と中域のカップリング効果を補正します。CPLは、1 kHzから徐々に減衰し、400 Hz以下で最大の減衰となり、4台以上のキャビネットで構成されるアレイを使用する際にバランスの取れた周波数特性を提供します。このCPL機能は0から9の間を1 dB単位で減衰量を設定できるようになっています。また、およそ65 Hz近辺の低域をブーストすることも可能です。(0から+5 dB間)

100Hzモード

100Hzモードは、サブウーファーの周波数特性の上限を100Hzに制限することができます。これによりフルレンジモードのTOPキャビネットを補完することができます。

モバイルアプリケーションへの推奨アンプ

	T10	T-SUB	B4-SUB
D20	x	x	x

固定設備アプリケーションへの推奨アンプ

	Ti10L	Ti10P	Ti-SUB
30D	x	x	x

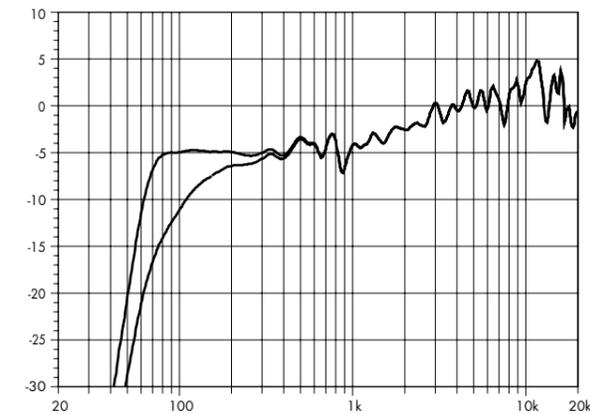
各アンプチャンネル毎の最大ラウドスピーカー接続台数

	T10	Ti10L	Ti10P	T-SUB/ Ti-SUB	B4-SUB
	4	4	4	2	2

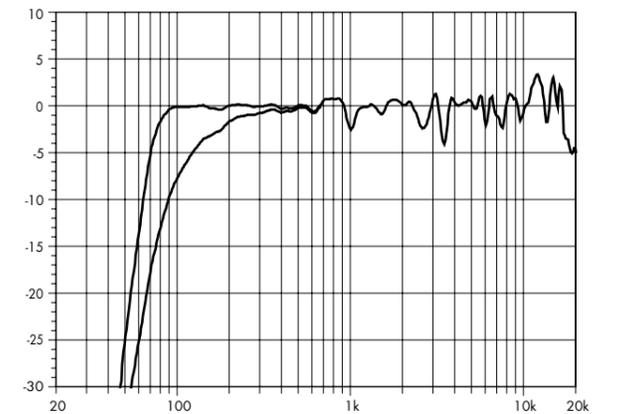
利用可能なコントローラー設定

	T10	Ti10L	Ti10P	T-SUB/ Ti-SUB	B4-SUB
Arc, Line	x	x			
PS	x		x		
CUT	x	x	x		
HFC	x	x			
HFA	x		x		
CPL	x	x	x		
100 Hz				x	x

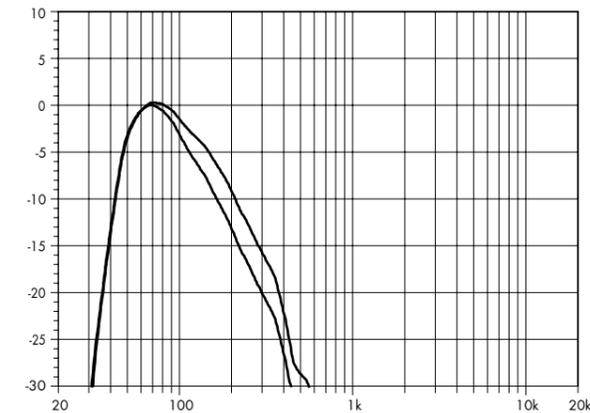
T-Series 周波数特性



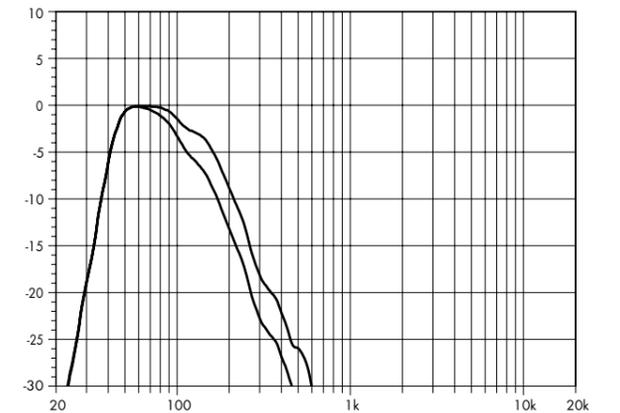
T10ラインソース/Ti10LのCUTと標準設定(単独キャビネット)



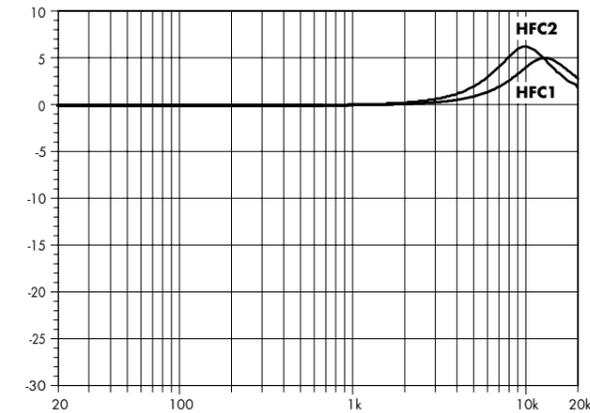
T10ポイントソース/Ti10PのCUTと標準設定



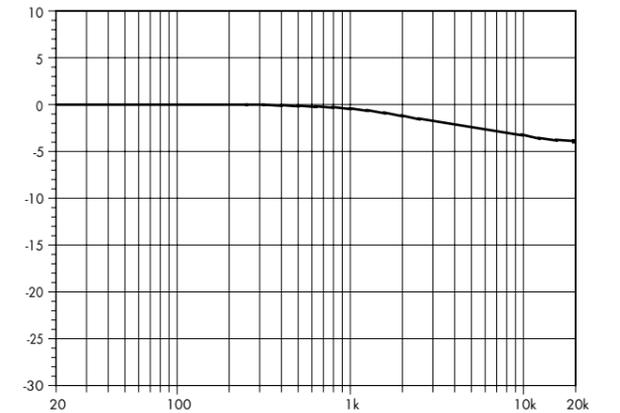
T-SUB 100 Hz設定と標準設定



B4-SUBの100 Hzと標準設定



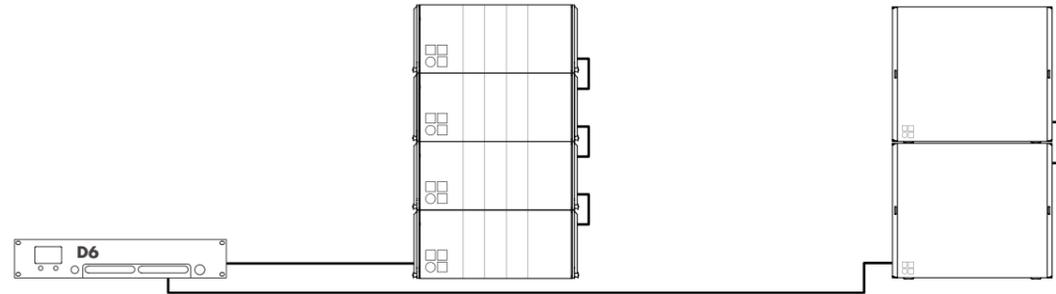
HFC補正



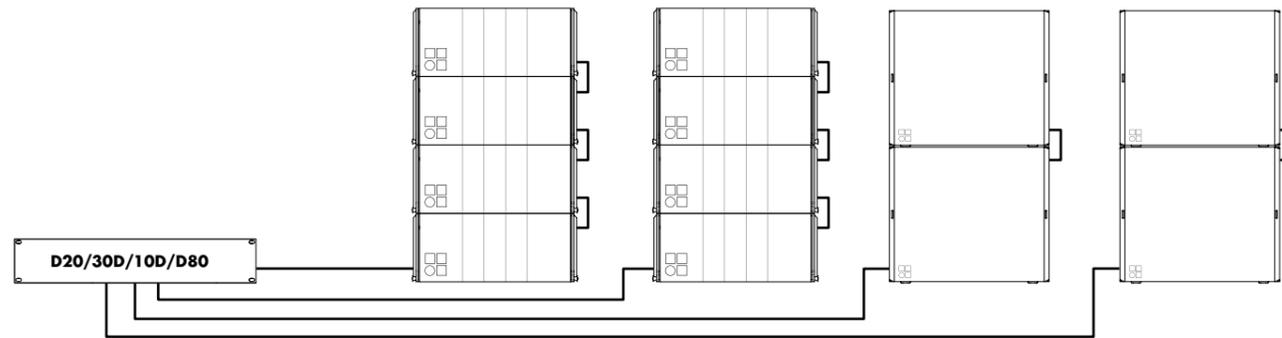
HFA減衰

d&b アンプの出力モード

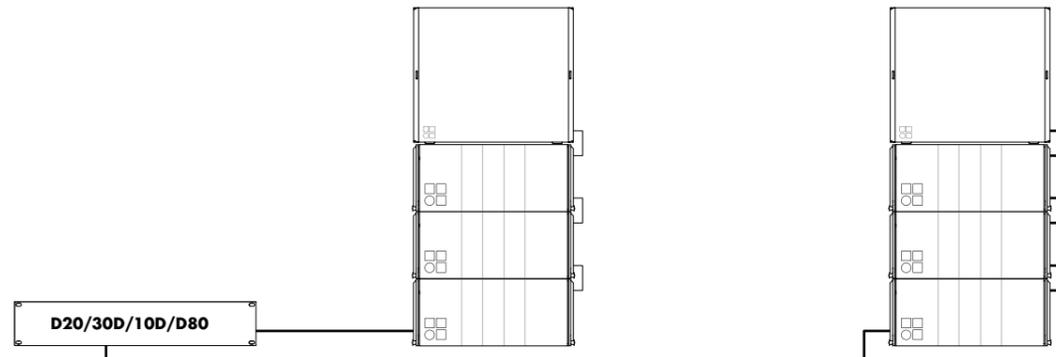
DS10オーディオネットワークブリッジ



T10/Ti10またはTi10PをT-SUB/Ti-SUBまたはB4-SUBと組み合わせデュアルモード設定のD6アンプで駆動する接続例



T10/Ti10LまたはTi10PをT-SUB/Ti-SUBまたはB4-SUBと組み合わせデュアルモード設定のD20/30D/10D/D80アンプで駆動する接続例



T10/Ti10LまたはTi10PをT-SUB/Ti-SUBまたはB4-SUBと組み合わせMix TOP/SUB設定のD20/30D/10D/D80アンプで駆動する接続例¹

DS10オーディオネットワークブリッジは、DanteネットワークとAES3デジタルオーディオ信号をインターフェイスすると同時にEthernetコントロールデータを供給します。信号経路内でアンプの手前に位置するこの1 RUの機器は、モバイルと固定設備の両設置環境において、d&bシステムアプローチを拡大します。各ユニットは、最大16のDanteネットワークチャンネルをAES3デジタル信号出力を經由で供給することができます。DS10からのAES3チャンネルストリームは、Danteチャンネルラベルの付いたメタデータと配線情報を4つのチャンネルd&bアンプへ送ります。さらに、追加で用意されている4つのAES3入力チャンネルは、ハウスコンソール側でのプレークインしたい時などの用途においてDanteオーディオネットワークへのアクセスを提供します。DS10は、機器内に5ポートスイッチを統合していますのでDanteプロトコル用のプライマリとセカンダリ設定やMulticast Filtering、VLANモードなどの先進機能を提供します。この拡張可能なスイッチの柔軟性によって、R1リモートコントロールソフトウェアを用いてd&bアンプをコントロールするノートパソコンをOCA（オープンコントロールアーキテクチャ）プロトコルを介して接続することも可能になります。DS10オーディオネットワークブリッジを使用すれば、1本のEthernetケーブルでオーディオ信号とリモートコントロールデータの両方を使用することができます。DS10は、主電源電圧100V～240V、50～60Hzに適合し、400Vまでの過電圧保護付きの電源を備えています。

コントロールとインジケータ

BYPASS/NETWORK..... トグルスイッチ
 スイッチポートモード/オーディオロス LEDインジケータ
 SYNCエラー 赤LEDインジケータ
 SUBSCRIBED(Rxサブスクリプション) 緑LEDインジケータ

コネクタ

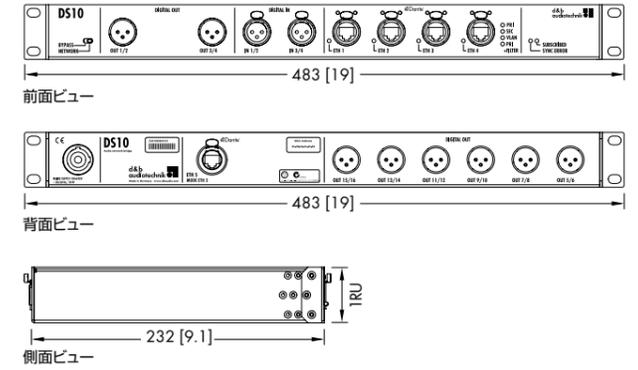
DIGITAL IN.....3ピンXLRメス AES3
 入力サンプリング 32 - 192 kHz
 入力同期 サンプルレートコンバーター(SRC)
 DIGITAL OUT 3ピンXLRオス AES3
 出力サンプリング 48/96 kHz
 出力同期 Danteネットワーク
 ネットワーク etherCON¹
 内蔵5ポートEthernetスイッチ
 100/1000 Mbit

電源部

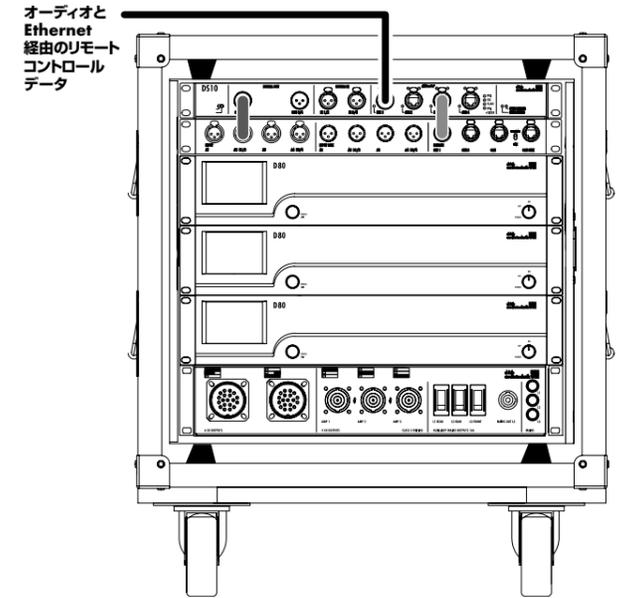
電源コネクタ powerCON¹
 公称電源電圧 100 - 240 V, 50 - 60 Hz

寸法、重量

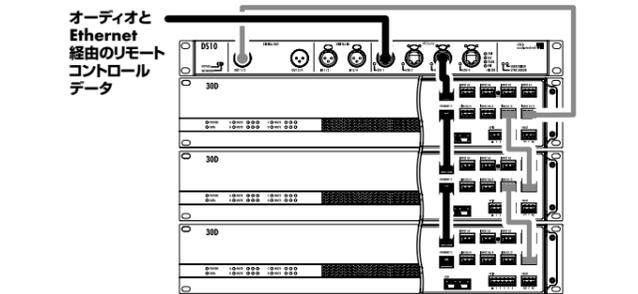
高さ x 幅 x 奥行 1 RU x 19" x 232 mm
 重量 3.75 kg (8.26 lb)



DS10オーディオネットワークブリッジ mm



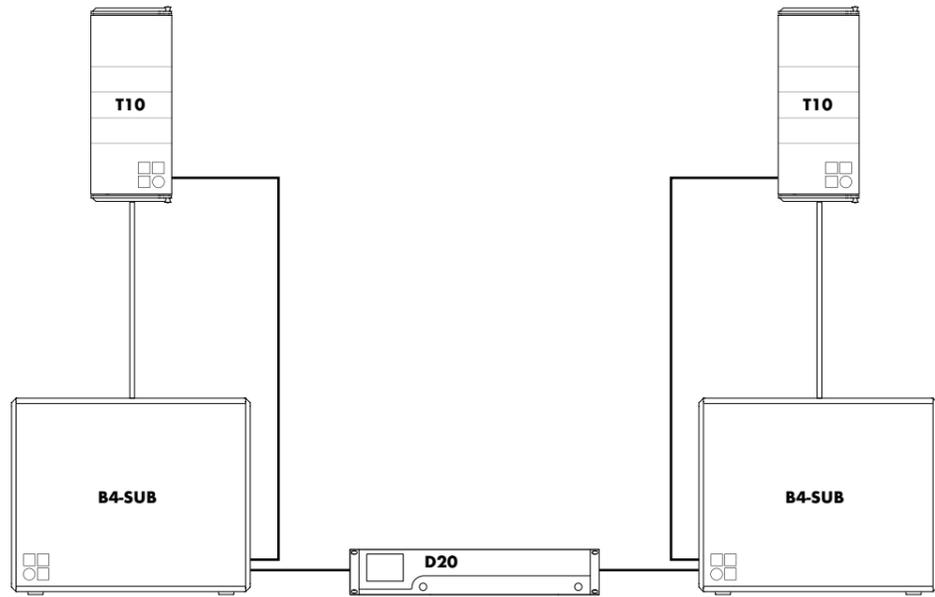
DS10からオーディオとリモートコントロールデータをD80アンプに送信する接続



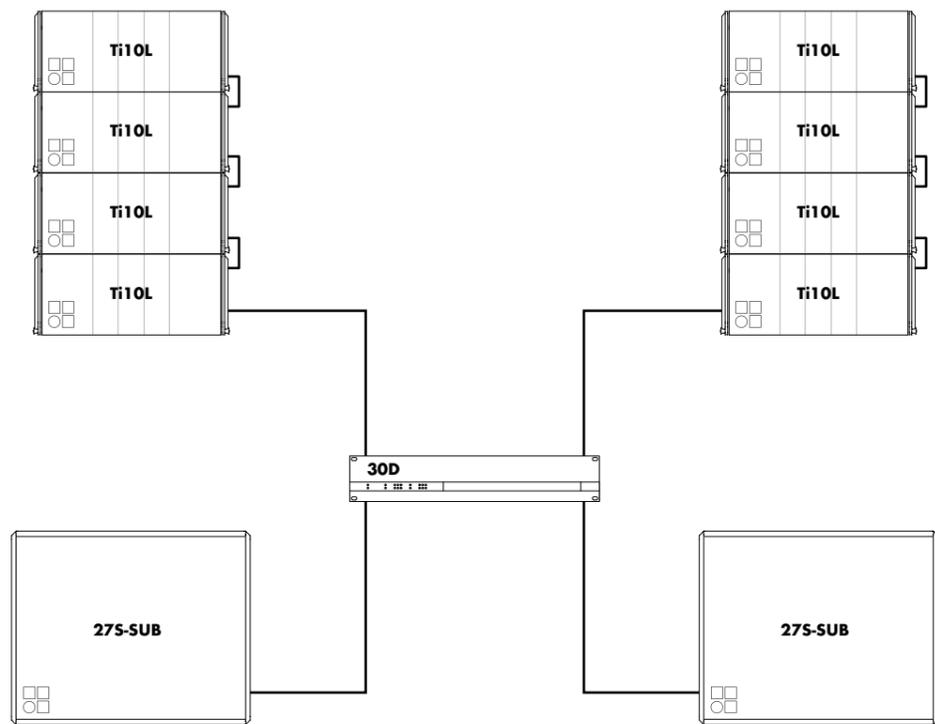
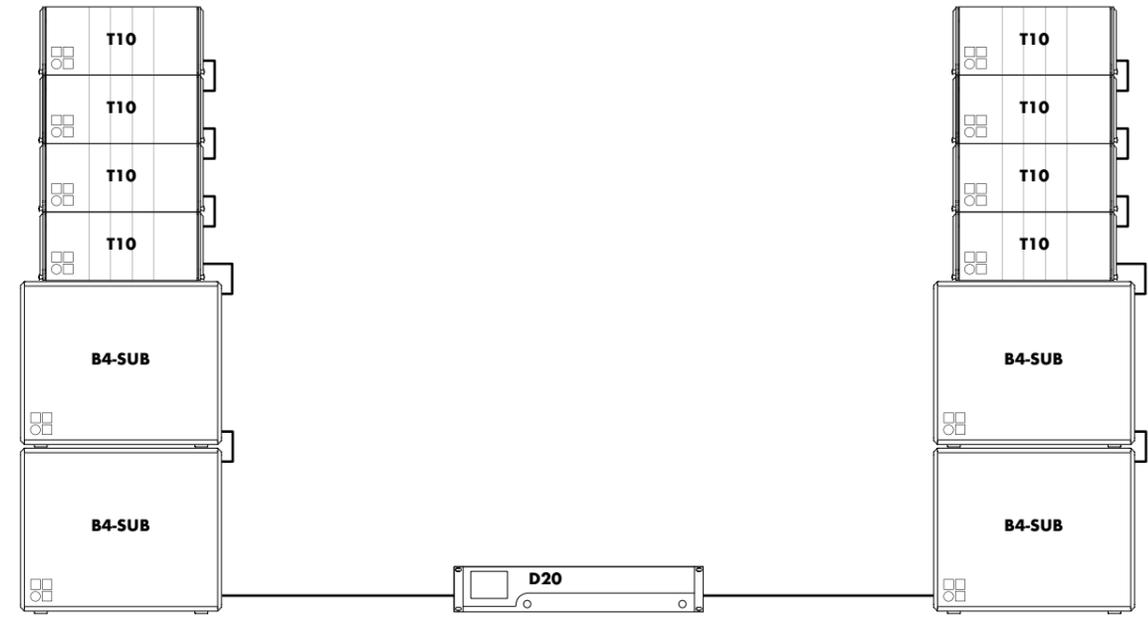
DS10からオーディオとリモートコントロールデータを30Dアンプに送信する接続

¹ デュアルチャンネルモードとMix TOP/SUB設定は同じアンプで混在して設定が可能です。

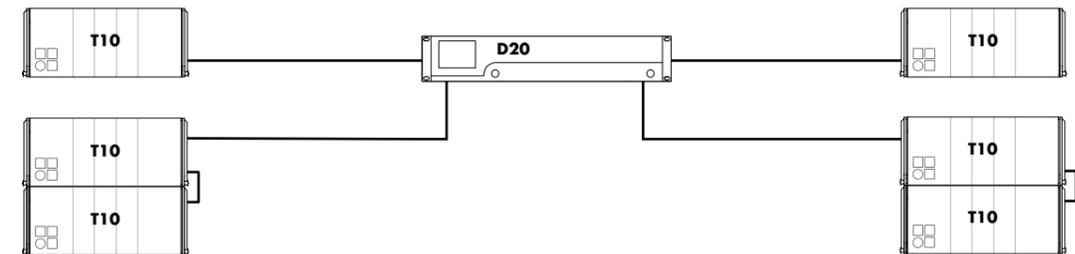
T-Series 構成例



ポイントソース設定のT10をB4-SUBの上に取り付けMix TOP/SUB設定のD20アンプで駆動する構成例¹

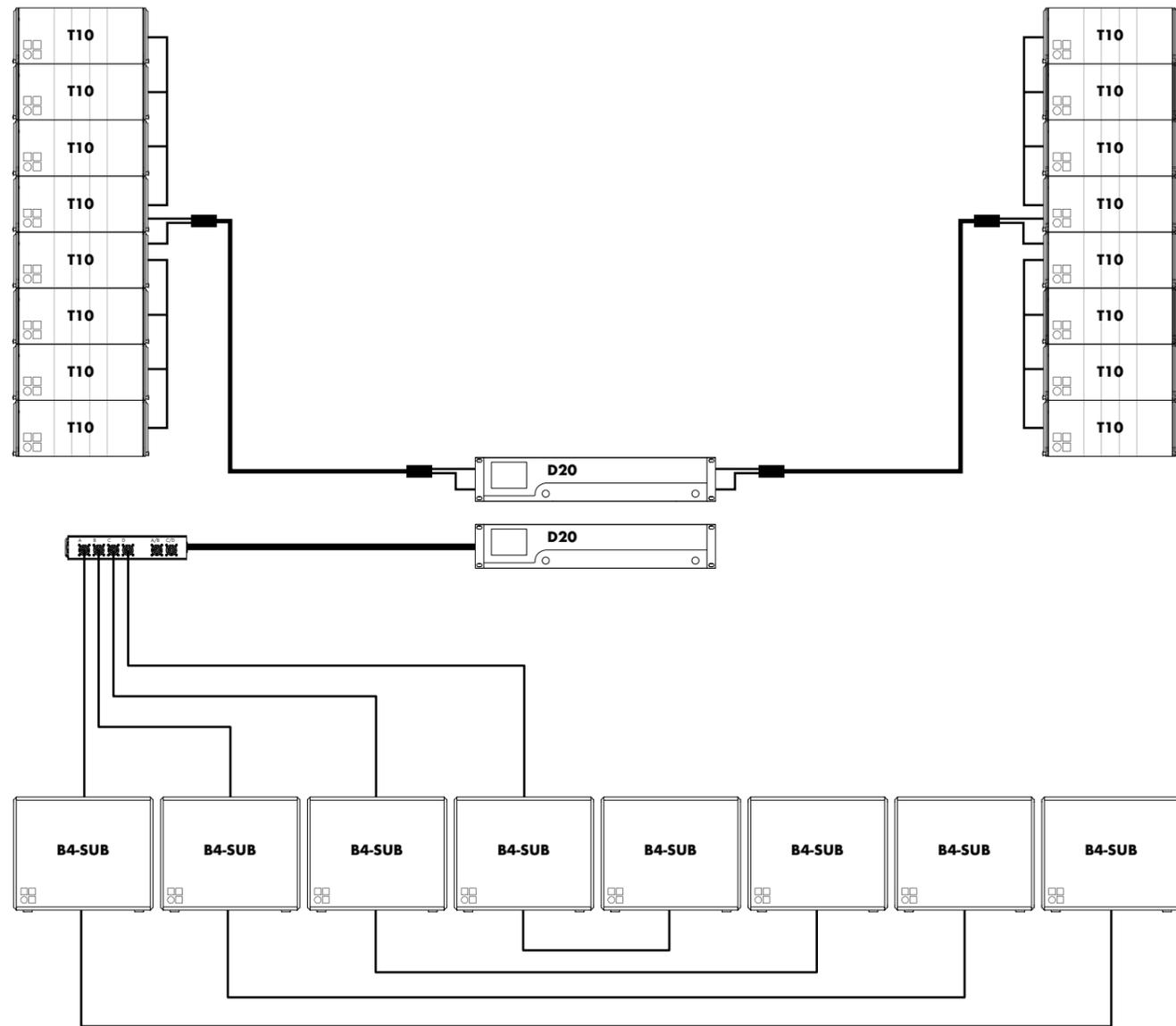


Ti10Lラインアレイと275-SUBを組み合わせ、デュアルチャンネル設定の30Dアンプで駆動する構成例

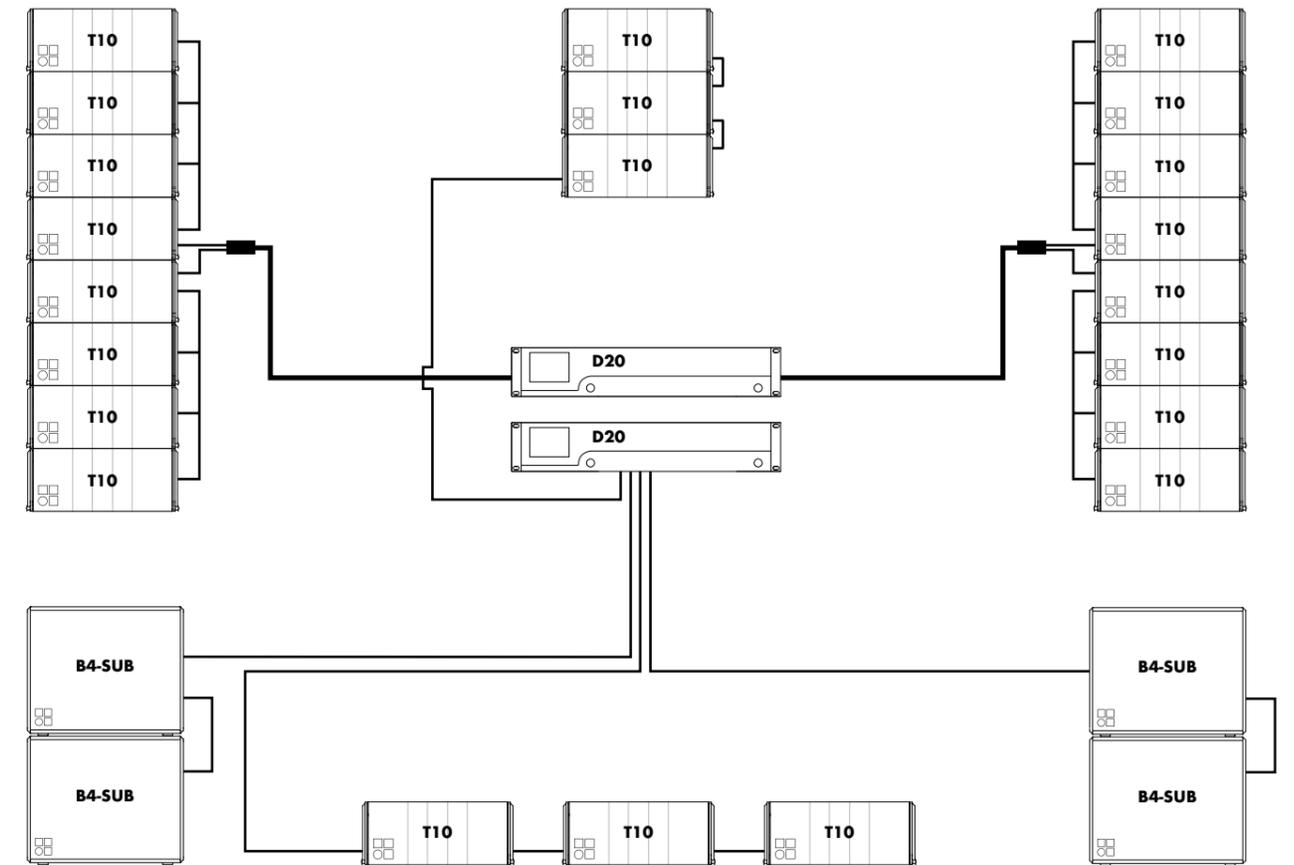


T10ラインアレイをB4-SUBの上にグランドスタックしてL/Rに構成し、Mix TOP/SUB設定のD20アンプで駆動し、フロントフィルとディレイにもT10を構成し、それぞれをデュアルチャンネル設定のD20アンプで駆動する構成例

T-Series 構成例



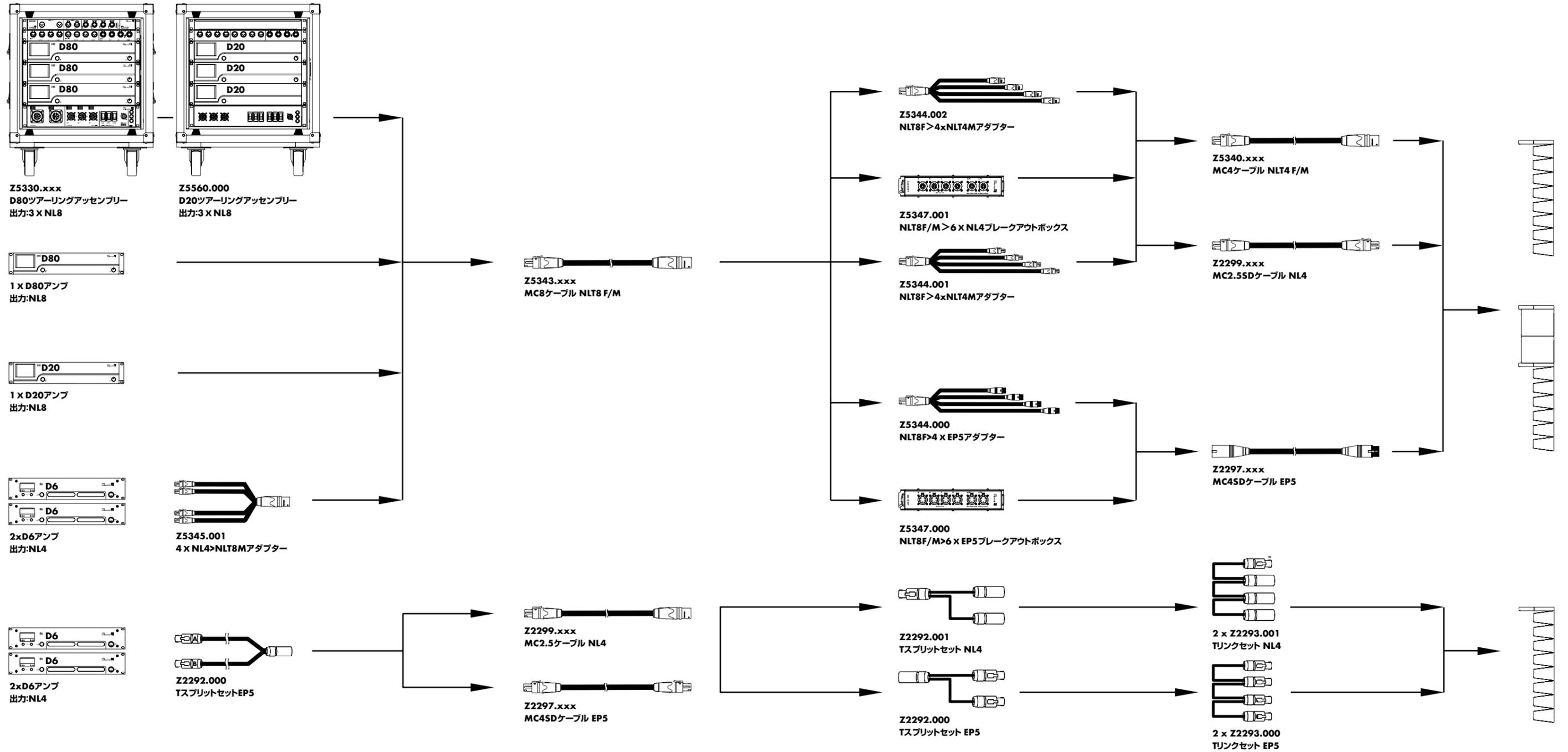
T10フライングアレイをL/Rで構成し、B4-SUBをSUBアレイで構成し、全てをデュアルチャンネルモードのD20アンプで駆動する構成例¹



T10フライングアレイをL/C/Rとフロントフィルで構成し、全てをデュアルチャンネルモードのD20アンプで駆動する例¹

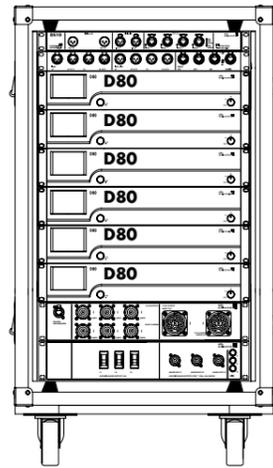
T-Series ケーブルとアダプター

デュアルチャンネルモードのアンブ

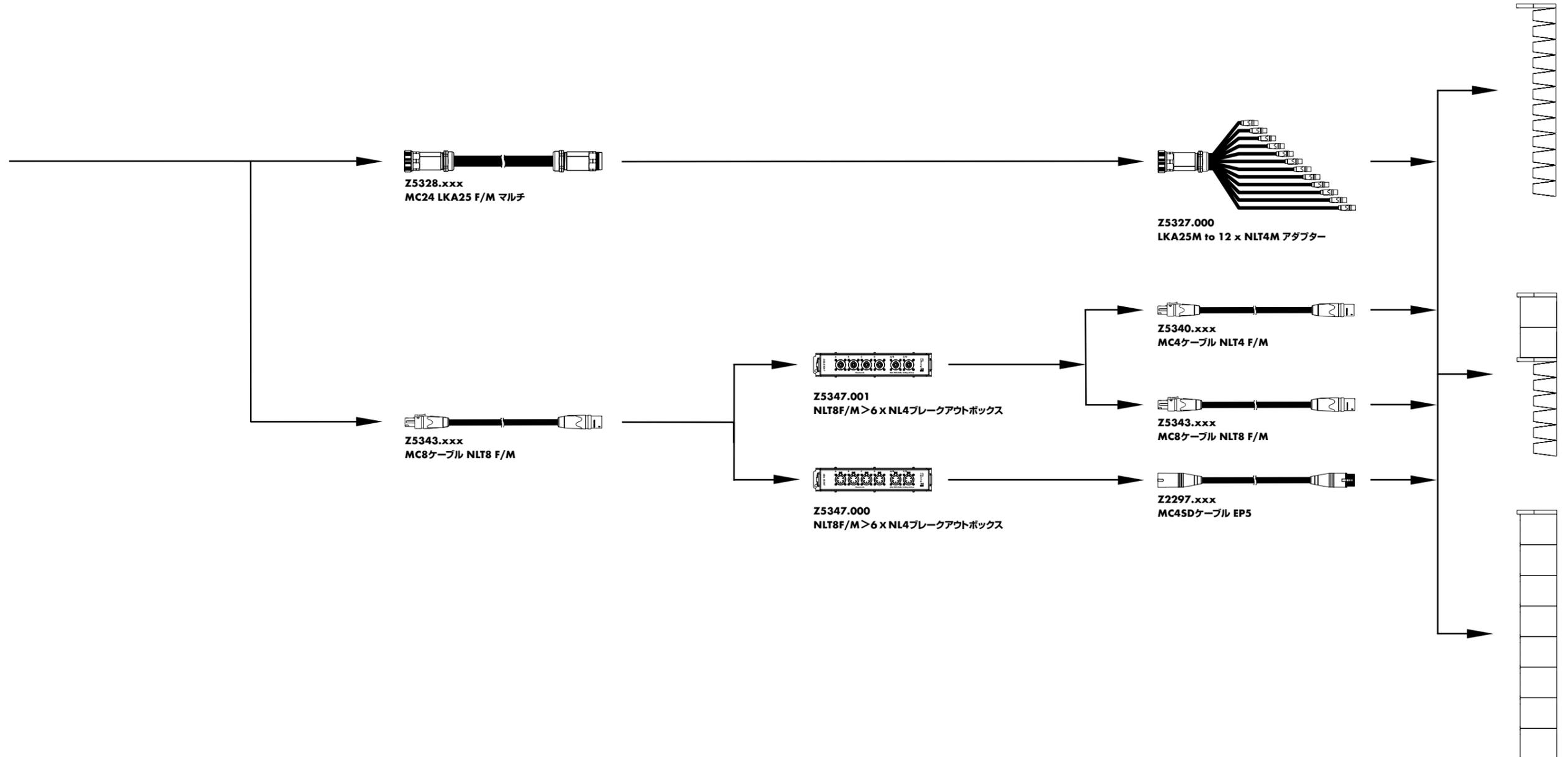


The T-Series cables and adapters MC24 - LKA25 / MC8

デュアルチャンネルモードのアンブ



Z5576
D80ツアールングアセンブリー
出力: 2 x LKA25F / 6 x NL8



T-Series 製品概要

T ラウドスピーカー	Z0550.xxx Z0560.xxx Z0610.xxx	T10 ラウドスピーカー T サブウーファー B4-SUB サブウーファー	アンプ	Z2750.xxx Z2770.xxx Z2760.xxx Z2700.xxx Z2710.xxx	D20 アンプ ⁵ 30D アンプ ⁶ 10D アンプ ⁶ D6 アンプ ⁵ D80 アンプ ⁵
ラウドスピーカー コネクターオプション	Zxxxx.000 Zxxxx.001 Zxxxx.002	EP5 コネクター NL4 コネクター NLT4 F/M コネクター	オーディオネットワークング	Z4010.000 Z5563.000 Z5339.000	DS10 オーディオネットワークブリッジ DS10 ラックアップグレードキット マルチチャンネル延長ケーブル
Ti ラウドスピーカー	Z0551.001 Z0552.001 Z0561.001	Ti10L ラウドスピーカー NL4 コネクター Ti10P ラウドスピーカー NL4 コネクター Ti サブウーファー NL4 コネクター WR 対天候性オプション ¹ SC 特別色塗装オプション ²	アンプラックアッセンブリー	Z5560.000 Z5561.000 Z5330.001 Z5562.001 Z5330.xxx Z5576.000 Z5576.050	D20 ツアーリングラックアッセンブリー CEE 32A 5P, NL4 ⁷ D20 ツアーリングラックアッセンブリー CEE 32A 5P, NL4, DS10 ⁷ D80 ツアーリングラックアッセンブリー, CEE 32A 5P, NL4 ⁷ D80 ツアーリングラックアッセンブリー, CEE 32A 5P, NL4, DS10 ⁷ D80 ツアーリングラックアッセンブリー, Nema L21-30 (120Vデバイス) 受注生産 ⁷ 6 x D80 ツアーリングラックアッセンブリー 18RU - CEE ⁷ 6 x D80 ツアーリングラックアッセンブリー 18RU - NEMA ⁷
ラウドスピーカーケース	E7451.000 E7452.000 E7453.000 E7455.000	ツアーリングケース 4 x T10 スリーブ、キャスター ツアーリングケース 2 x T10 蓋 ツアーリングケース 2 x T-SUB スリーブ、キャスター ツアーリングケース 2 x T Flying frame 蓋、キャスター	アンプラック	E7480.000 E7468.000	D20 ツアーリングラック 2 RU 19" スライドドア、ショックマウント、ハンドル D80 ツアーリングラック 2 RU, 19" スライドドア、ショックマウント、ハンドル
蓋	E7922.000	B4-SUB 木製蓋	ケーブル and adapters	Z5343.xxx Z5346.000 Z5345.001 Z5344.002 Z5344.001 Z5344.000 Z5347.001 Z5347.000 Z5340.xxx Z2298.xxx Z2293.002 Z2293.001 Z2293.000 Z2292.002 Z2292.001 Z2292.000 Z5328.xxx Z5325.000 Z5327.000	MC8 ケーブル NLT8 F/M 4 x EP5M>NLT8M アダプター 4 x NL4>NLT8M アダプター NLT8F>4 x NLT4M アダプター NLT8F>4 x NL4 アダプター NLT8F>4 x EP5 アダプター NLT8F/M>6 x NL4 ブレークアウトボックス NLT8F/M>6 x EP5 ブレークアウトボックス MC4 ケーブル NLT4 F/M MC2.5SD ケーブル EP5 T リンクセット NLT4 F/M T リンクセット NL4 T リンクセット EP5 T スプリットセット NLT4 F/M T スプリットセット NL4 T スプリットセット EP5 MC24 LKA 25 F/M マルチ LKA25M>6 x NLT4M アダプター LKA25M>12 x NLT4M アダプター
アクセサリ	Z5370.000 Z5374.000 Z5371.000 Z5372.000 Z5373.000 Z5354.000 Z5355.000 Z5010.000 Z5015.000 Z5029.000 Z5009.000 Z5013.000 Z5024.000 Z5034.000 Z5012.500 Z5147.001 Z5155.000 E6507.000 Z5375.000	T フライングフレーム ² Ti フライングバー ² T フライングブラケット ² T 水平ブラケット ² T クラスターブラケット 3台まで ² E8/E12 フライングアダプター ² E8/E12 フライングアダプターリンク TV スピゴット固定プレート付き フライングアダプター-02用 TV スピゴット 2 M10 用 TV スピゴット ラウドスピーカースタンド ワインダー付き ラウドスピーカースタンド ワインダー付き M20 用 ラウドスピーカースタンドアダプター M10 スタンドアダプター TV スピゴット用パイプクランプ ロータクランプ Q ホイストコネクターチェーン 1t シャックル T ベースプレート ³	その他	Z5061.000	スタンダードキャビネットペイント 1 kg/2.2 lb
リモートネットワーク	Z3010.000 Z6118.000 Z6124.000 Z6116.000 Z6122.000 Z6123.000	R1 リモートコントロールソフトウェア ⁴ R60 USB>CAN インターフェイス R70 Ethernet>CAN インターフェイス RJ45 オス型 ターミネーター Bopla マウンティングクランプ Bopla マウンティングクランプ(垂直)			

¹ WRIはTiラウドスピーカーのみ対応、受注生産

² SCIはTiラウドスピーカーのみ対応、受注生産

³ T10のみ対応

⁴ www.dbaudio.comからダウンロードで入手可能

⁵ モバイルアンプの全ての製品バージョンはDアンプとソフトウェアカタログを参照ください。

⁶ 固定設備アンプの全ての製品バージョンはxDアンプとソフトウェアカタログを参照ください。

⁷ より詳細な情報はDアンプとソフトウェアカタログを参照ください。

